

平成 29 年
都産技研の利用に関する調査
アウトカム
評価報告書



平成 30 年 4 月

はじめに

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下、「都産技研」という。）は、平成 18 年 4 月に全国の公設試験研究機関に先駆けて地方独立行政法人化いたしました。今後とも地方独立行政法人としてのメリットとスタンスを生かして、機動的かつ柔軟な事業運営を展開し、依頼試験、技術相談、機器利用、共同研究などさまざまな事業を通じて、企業等の皆さまに、より良い支援を提供してまいります。

都産技研をご利用いただいている企業等の皆さまのより一層のお役にたてるよう、ご利用に関する要望・意見などをお伺いする「都産技研の利用に関する調査」を先般実施いたしました。今回は 4,512 名の皆さまにアンケートを依頼し、2,248 名からご回答をいただきました。

調査の結果は、都産技研の事業運営や支援方法の改善を図る資料として、大いに活用させていただきます。

調査にご理解とご協力をいただきました企業等の皆さま方に心より御礼申し上げますとともに、今後とも都産技研の一層のご利用をお願い申し上げます。

平成 30 年 4 月
地方独立行政法人
東京都立産業技術研究センター
理事長 奥村次徳

目 次

1.調査概要	1
1.1.調査目的	1
1.2.調査対象	1
1.3.調査方法	1
1.4.調査内容（調査用紙の項目）	1
1.5.回収結果	1
2.調査結果.....	2
2.1.都産技研利用のきっかけ	2
2.2.情報提供について.....	3
2.3.都産技研の利用実態について	4
(1) 技術相談.....	5
(2) 依頼試験.....	9
(3) 機器利用.....	13
(4) 講習会・技術セミナー	17
(5) オーダーメイド開発支援	21
【事業の比較まとめ】	25
2.4.都産技研の利用による経済効果について	26
2.5.今後の利用意向及び要望について	30
2.6.参入予定分野・利用予定事業（サービス）について	33
3.総括.....	34
3.1.利用者からのご意見・ご要望	34
3.2.ご意見をもとに改善した例について	35
参考資料	36

1.調査概要

1.1.調査目的

都産技研の利用企業等における、利用満足度やその活用実態、支援ニーズなどを把握し、都産技研の事業運営や支援方法の改善等に必要データを取得するために実施した。

1.2.調査対象

平成29年1月4日から平成29年12月28日までの間に、都産技研の各種事業を利用された企業等の社員の方で、個人情報利用に同意いただいた方4,512名を対象とした（但し、宛先不明などを除いた有効送付数は4,454名）。

1.3.調査方法

配布方法：調査用紙を郵送にて対象者に配布。オンライン回答も実施した。

回収方法：記入した調査用紙を郵送、ファックス、またオンラインにて回収した。

期 間：平成30年2月13日から平成30年3月9日まで

※途中、督促はがき及び督促電話を実施

1.4.調査内容（調査用紙の項目）

- (1) 利用のきっかけ
- (2) 情報提供について
- (3) 各事業の利用実態について
 - ・利用目的、目的達成度、具体的な成果、職員の対応、経済効果 など
- (4) 興味関心や要望について
 - ・今後の利用希望サービス、参入予定分野など
- (5) 業種について

1.5.回収結果

2,248名の方から回答をいただいた。（回収率：50.5%）

2.調査結果

2.1.都産技研利用のきっかけ

都産技研を利用したきっかけをみると、「ホームページ」、「自社（自校）の方からの紹介」の回答割合が高い。また、「その他」の回答が172件あるが、そのうち、「以前から利用・知っていた」との回答が、76件と多くなっている。

都産技研利用のきっかけ

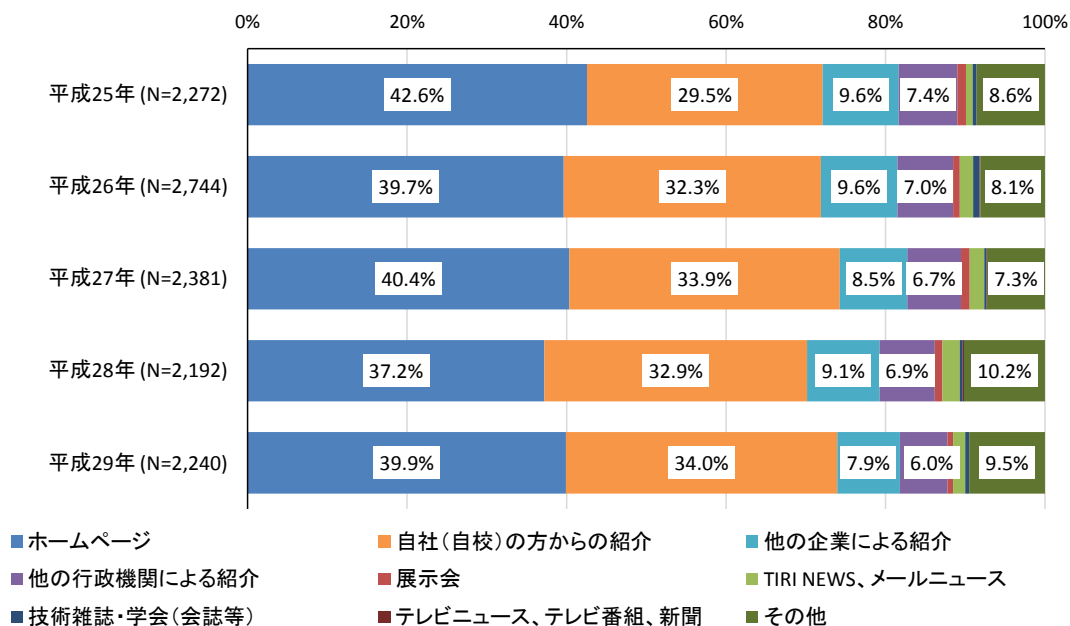
回 答	件 数	割 合
ホームページ	894	39.9%
自社(自校)の方からの紹介	762	34.0%
他の企業による紹介	176	7.9%
他の行政機関による紹介	134	6.0%
施設公開等の都産技研開催イベント	41	1.8%
メールニュース	24	1.1%
展示会	16	0.7%
技術雑誌・学会(会誌等)	11	0.5%
TIRI NEWS	10	0.4%
テレビニュース、テレビ番組、新聞	0	0.0%
その他	172	7.7%
合計	2,240	100.0%

[その他の主な内容]

- ・以前から利用・知っていた (76件)
- ・知人・社内等からの紹介 (30件)
- ・インターネット等で自分で探した (5件)

経年推移をみても、大きな傾向の差はない。昨年（平成28年）の結果と比べると、若干ではあるが、「ホームページ」及び「自社（自校）の方からの紹介」の回答割合が増加、「他の企業による紹介」、「他の行政機関による紹介」の回答割合が減少している。

都産技研利用のきっかけ



2.2.情報提供について

都産技研のホームページやメールニュースに対しては、約 300 件のコメントをいただいた。

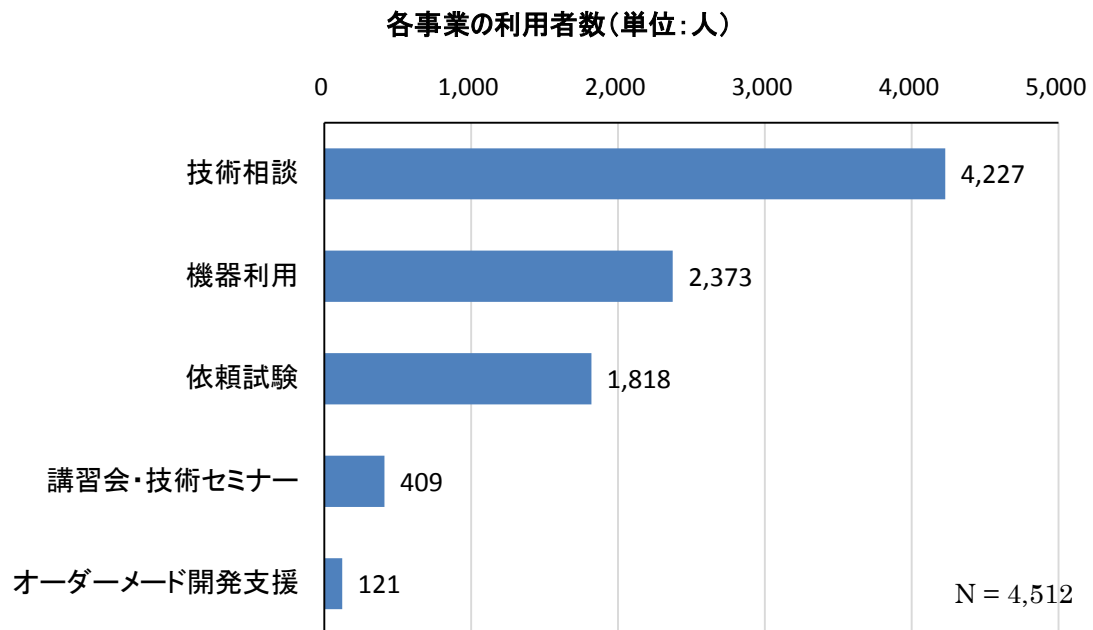
内容としては、ホームページについては、「以前よりも分かりやすくなった。必要な情報が掲載されていて良い」という意見が多い一方、機器利用の予約状況の確認のしにくさ、またはオンライン予約の拡充の必要性などが指摘された。

情報提供についての意見・要望の内容(回答内容から一部抜粋)

- メールニュースについては、セミナー情報がたいへん役に立っている。
- HP の機器利用の予約状況確認が画面をスクロールして探すようになっている。機器数が多いため探しにくい。
- 依頼試験、機器利用などの「(サービスの)利用事例」があると参考になる。
- オンライン予約が可能な機器の種類が増えると良い。
- 機器利用時など、HP で必要な機器を探すのが困難である。検索機能を強化できないか。
- 一般企業と比較するとメールニュースなどの文面等が硬い印象がある。参加したくなるような文面にするなどの工夫をしてはどうか。

2.3.都産技研の利用実態について

本アンケートの対象者である4,512名が平成29年に利用した都産技研事業の内訳は、「技術相談」が4,227名、「機器利用」が2,373名、「依頼試験」が1,818名「講習会・技術セミナー」が409名、「オーダーメイド開発支援」が121名であった。



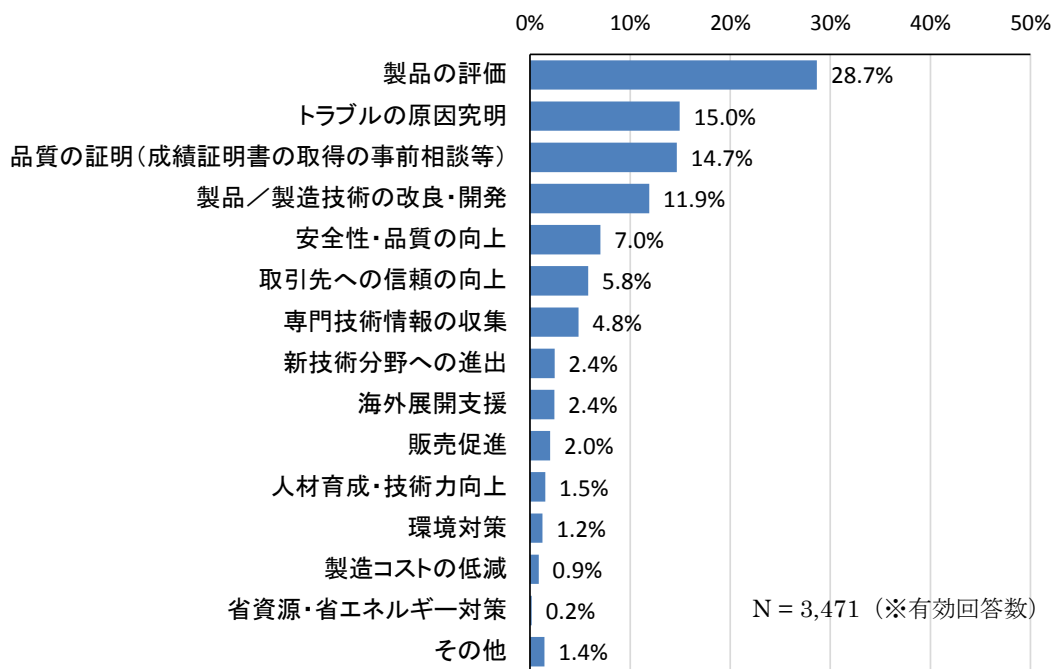
※利用者によっては、複数事業の利用があるため、それぞれの事業の回答件数の合計がN数を超える

(1) 技術相談

本設問では、「技術相談」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応等について、回答をいただいた。

技術相談の利用目的としては、「製品の評価」の回答割合が突出して高い。次いで、「トラブルの原因究明」、「品質の証明」、「製品/製造技術の改良・開発」の回答割合が高い。

技術相談の目的(複数回答)



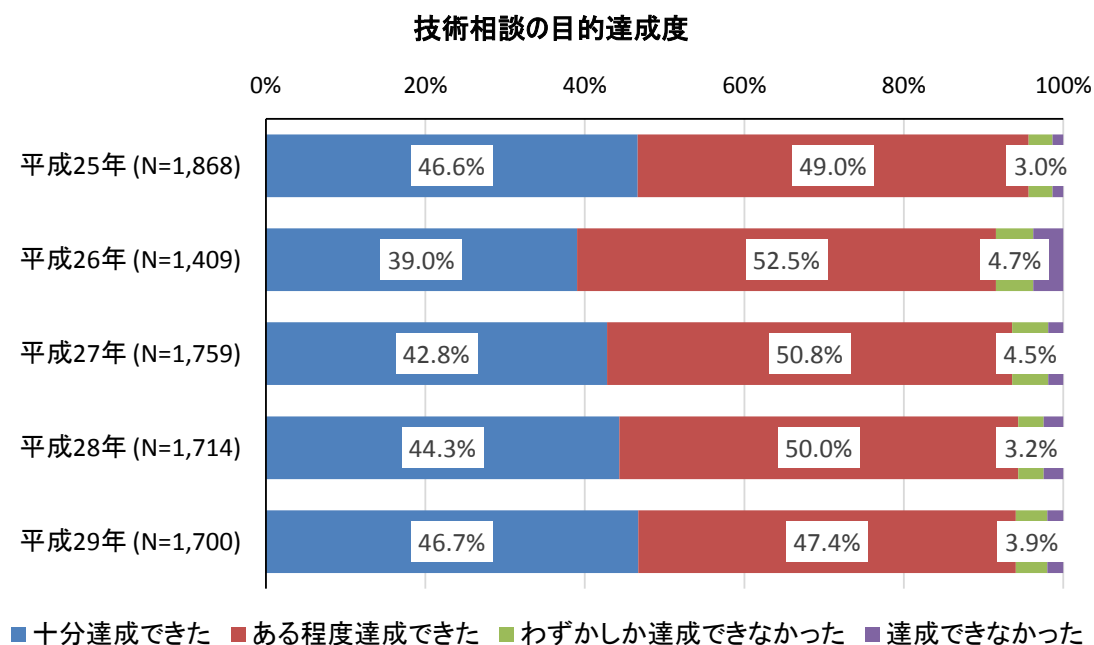
[その他の主な内容]

- ・ 3次元測定
- ・ 成分分析
- ・ CE マーキング、RoHS に関する相談
- ・ 海外各種規制対応の相談
- ・ 法令、規制に関する相談
- ・ 輸出に関する相談

※本アンケートの複数回答の設問の集計は回答者数ではなく有効回答数(回答件数)を母数として算出している。次ページ以降の複数回答の設問の集計も同様である。

(1) 技術相談

技術相談の目的達成度は、「十分達成できた」が46.7%、「ある程度達成できた」が47.4%となっている。90%以上の利用者が十分或いはある程度、目的を達成している。経年変化をみると、「十分達成できた」の割合が微増傾向にある。



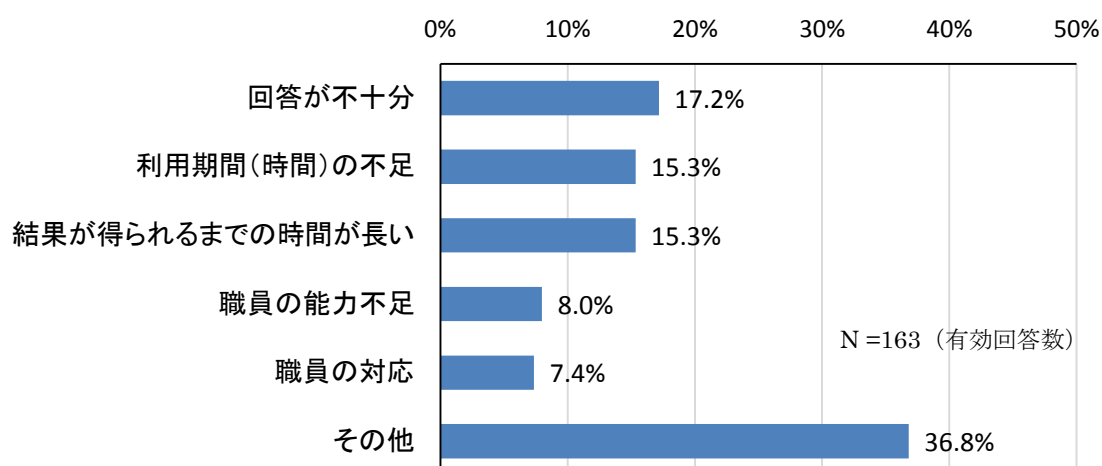
上述のような目的達成に関する具体的な成果について、421件のコメントをいただいた。成果の具体的な内容例は以下の通り。

技術相談による成果の内容（回答内容から一部抜粋）

- 3Dプリンタで、製品開発のイメージの検討ができた。
- OCE マーク認証を受けるまでの流れが分かった。
- お客様からのクレームの原因究明ができ、用途による材質変更などのアドバイスをいただいた。
- 相談した結果、品質マニュアルを改訂・改善することができた。
- メカニズムが不明であった現象の原因が明らかになった。
- 海外から輸入したプラスチック材料の証明をお客様へ提示することができた。
- 客先が求めている物性数字を提出することができ、受注に繋がった。
- 強度テストに必要な治具について細かにアドバイスいただいた。
- 試験方法や検証条件の妥当性についてアドバイスいただき、妥当性のある検証試験を実施することができた。
- 自社だけの調査でなく、外部の専門的な見解があることで説得材料が増えた。
- 相談の結果、韓国への輸出に向けて準備が進んだ。

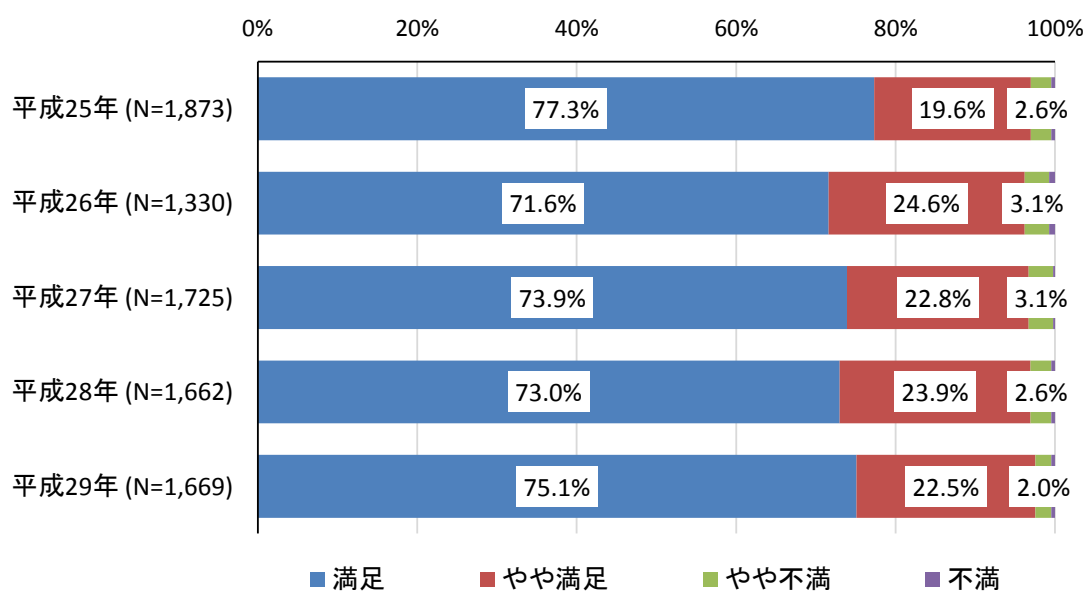
目的達成度について、「わずかしか達成できなかった」、「達成できなかった」とした回答者に達成度が低い理由をきいたところ、「回答が不十分」、「利用期間（時間）の不足」、「結果が得られるまでの時間が長い」との回答割合が高かった。

目的達成度が低い理由(複数回答)



技術相談の職員の対応満足度については、「満足」の回答割合が75.1%、同様に「やや満足」が22.5%と、合計して97.6%が満足と答えている。

職員の対応満足度



(1) 技術相談

技術相談のサービスに対する意見・要望について、147件のコメントをいただいた。

「親切な対応に満足している」などの前向きなご意見を多数いただいている。一方、下記のように、効率的に相談するための担当者等の専門・得意分野の可視化や相談者に応じた説明の必要性などが指摘された。

技術相談についての意見・要望の内容(回答内容から一部抜粋)

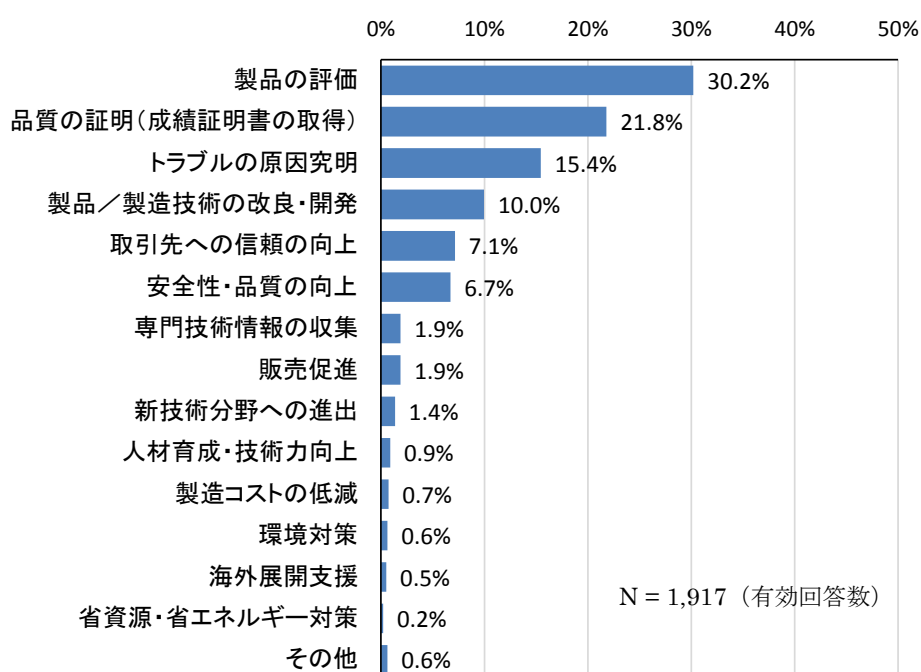
- 海外展開支援(MTEP)は予約から面談までの日数が長い。
- それぞれの担当者等の得意分野が分からないので相談の効率性に欠けるように感じる。
- 担当者の専門知識は相当深いと思うが、幅が狭い印象である。他機関との横の繋がりも薄いように感じる。
- 知識・経験の豊富な担当者が定年等退職でいなくなり、これに応じて利用頻度が減った。そういった担当者の知識・ノウハウ等の引継ぎを検討した方が良い。
- 利用事例などがあれば、相談時に教えていただきたい。
- 専門知識が少ない為、説明が難しく感じるがあった。知識のない人にももう少し分かりやすい説明をしていただけるとありがたい。

(2) 依頼試験

本設問では、「依頼試験」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応等について、回答をいただいた。

依頼試験の利用目的としては、「製品の評価」、「品質の証明」の回答割合が高い。次いで、「トラブルの原因究明」、「製品/製造技術の改良・開発」の回答割合が高い。また、「取引先への信頼の向上」、「安全性・品質の向上」の回答割合も一定程度あった。

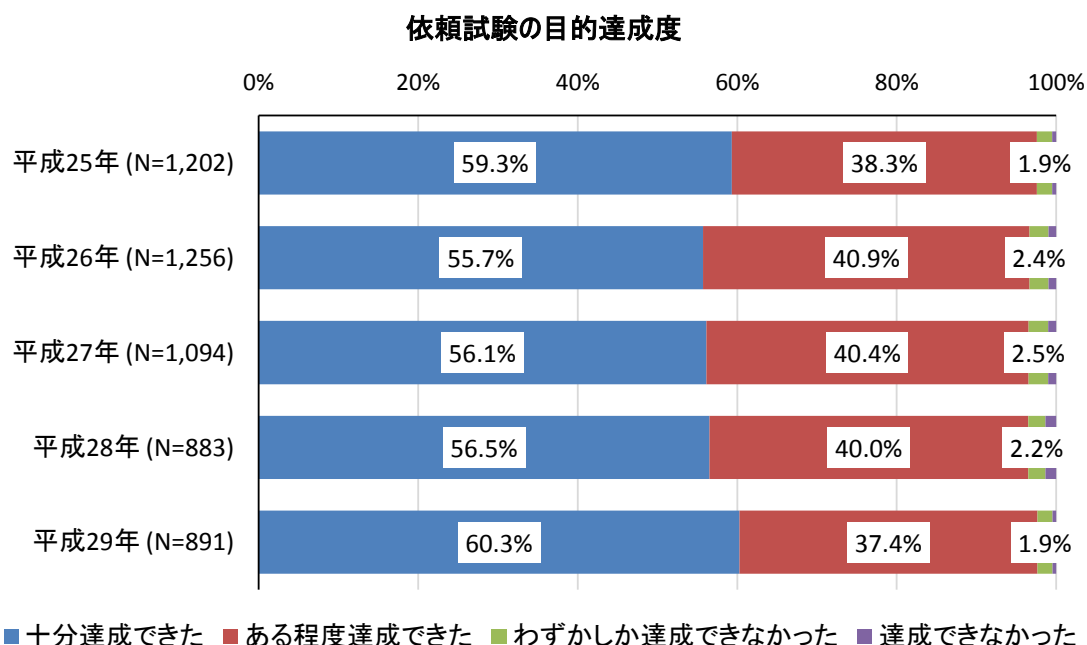
依頼試験の目的(複数回答)



[その他の主な内容]

- ・基礎研究
- ・材料データの計測
- ・試験コストの削減
- ・適合試験

依頼試験の目的達成度は、「十分達成できた」が60.3%、「ある程度達成できた」が37.4%となっている。90%以上の利用者が十分或いはある程度、目的を達成している。経年変化をみると、「十分達成できた」の回答割合が増加している。

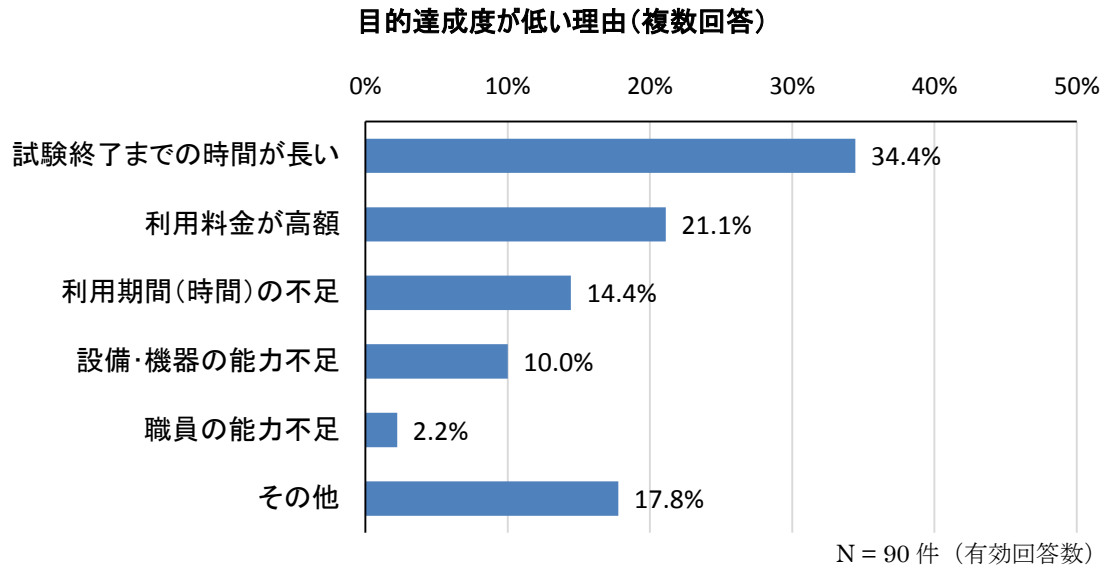


上述のような目的達成に関する具体的な成果について、222件のコメントをいただいた。成果の具体的な内容例は以下の通り。

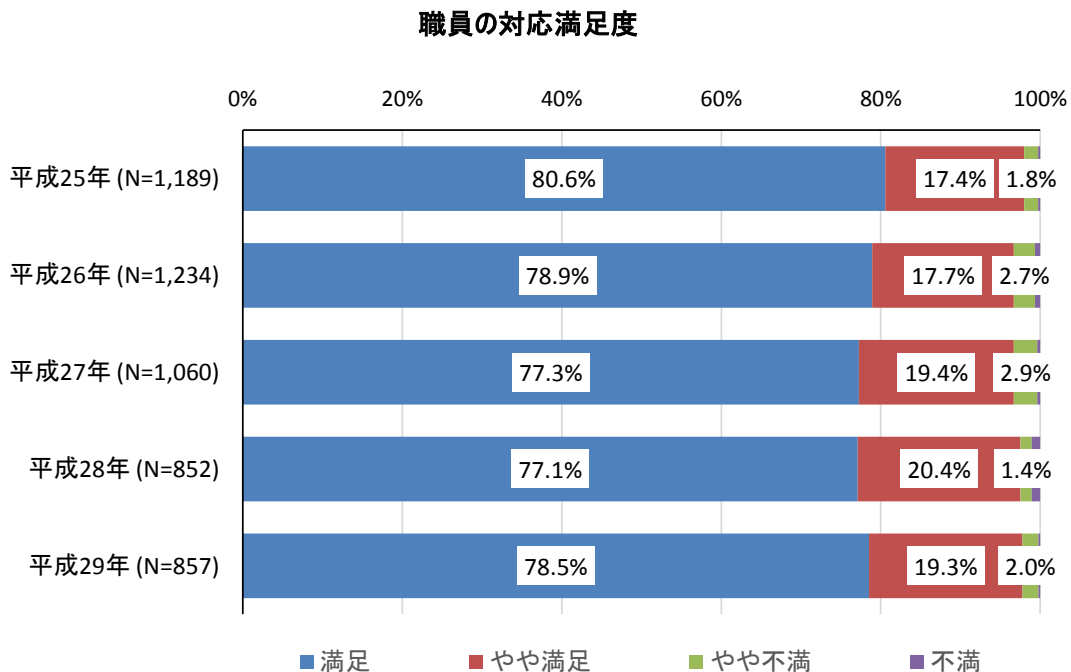
依頼試験による成果の内容(回答内容から一部抜粋)

- JIS規格やIEC国際規格に基づく製品評価ができた。
- TVショッピング向けの証明書の作成ができた。
- 素材にクレームの原因があると推察して物性試験を行っていただき、配合に問題が無いことが証明された。
- レザーケースの一部の経年劣化について試験を行っていただき、劣化の差を相対比で確認できた。結果は営業担当者などへの説明にも活用できた。
- 現在の製品に採用している材質の性能が不十分であることの証明ができ、製造メーカーへの製品改良の根拠を示すことができた。
- 試作品と量産品とで品質の差がないことが確認できた。
- 社内や民間機関ではなかなか発見しがたいミクロな領域の試験結果を得ることができた。

目的達成度について、「わずかしか達成できなかった」、「達成できなかった」とした回答者に達成度が低い理由をきいたところ、「試験終了までの時間が長い」、「利用料金が高額」との回答割合が高かった。



技術相談の職員の対応満足度については、「満足」の回答割合が 78.5%、同様に「やや満足」が 19.3%と、合計して 97.8%が満足と答えている。



(2) 依頼試験

依頼試験のサービスに対する意見・要望について、81件のコメントをいただいた。

技術相談と同様、「親切な対応に満足している」などの前向きなご意見を多数いただいている。一方、下記のように、納期の遅さや機器を扱える職員の更なる充実の必要性が指摘された。

依頼試験についての意見・要望の内容(回答内容から一部抜粋)

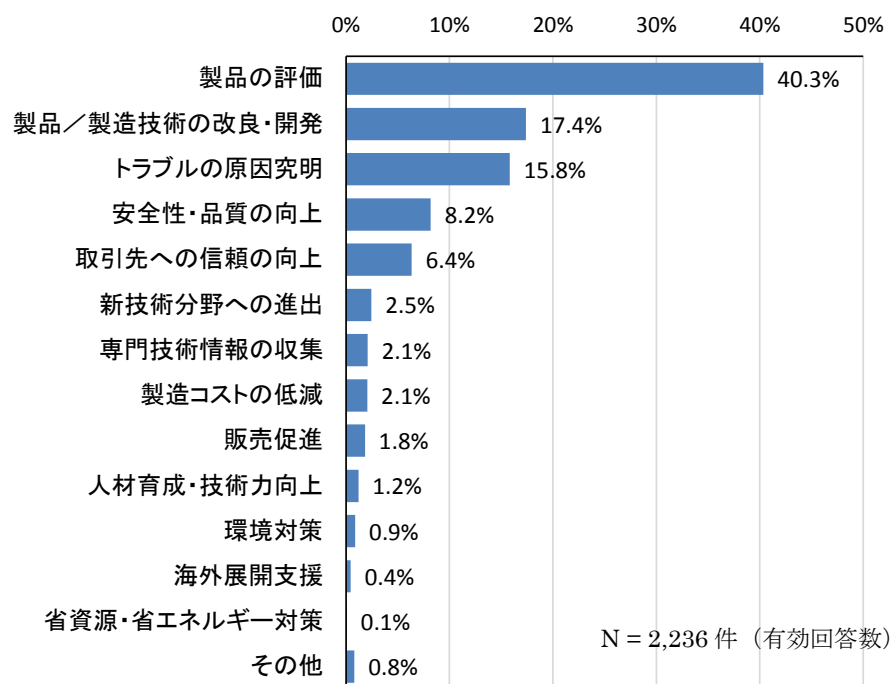
- 10年以上利用しているが、ここ数年は成績証明書発行までの納期がかり過ぎている。
- 依頼試験を申し込んでから結果が出るまでに1ヶ月程度かかった。切迫した状況だったので困ってしまった。
- 担当者の出張などに依頼試験のスケジュールが左右されるので、機器を扱える職員を更に充実させてほしい。
- 改良品の試験をしたかったが、予約が取れず、何ヶ月も何もできない状態が続いた。

(3) 機器利用

本設問では、「機器利用」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応等について、回答をいただいた。

機器利用の利用目的としては、「製品の評価」の回答割合が突出して高い。次いで、「製品/製造技術の改良・開発」、「トラブルの原因究明」の回答割合が高かった。また、「安全性・品質の向上」、「取引先への信頼の向上」の回答割合も一定程度あった。

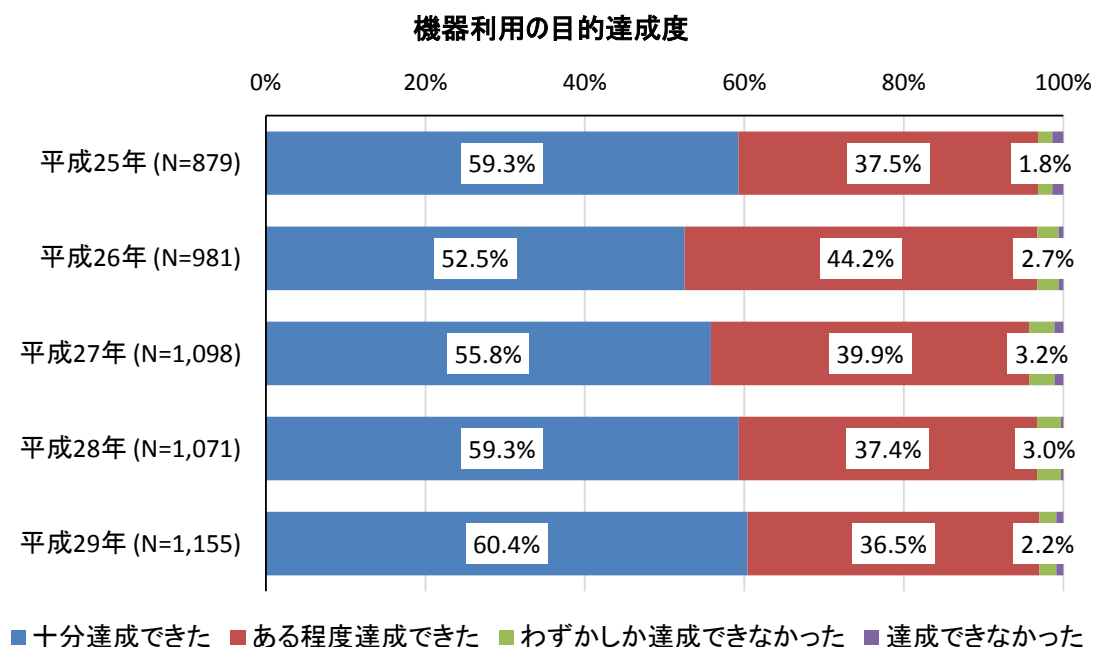
機器利用の目的(複数回答)



[その他の主な内容]

- ・3D プリンターによるモデル作成
- ・試作品の製作
- ・自社内では対応できない加工

機器利用の目的達成度は、「十分達成できた」が60.4%、「ある程度達成できた」が36.5%となっている。90%以上の利用者が十分或いはある程度、目的を達成している。経年変化をみても、ほぼ同様の傾向である。



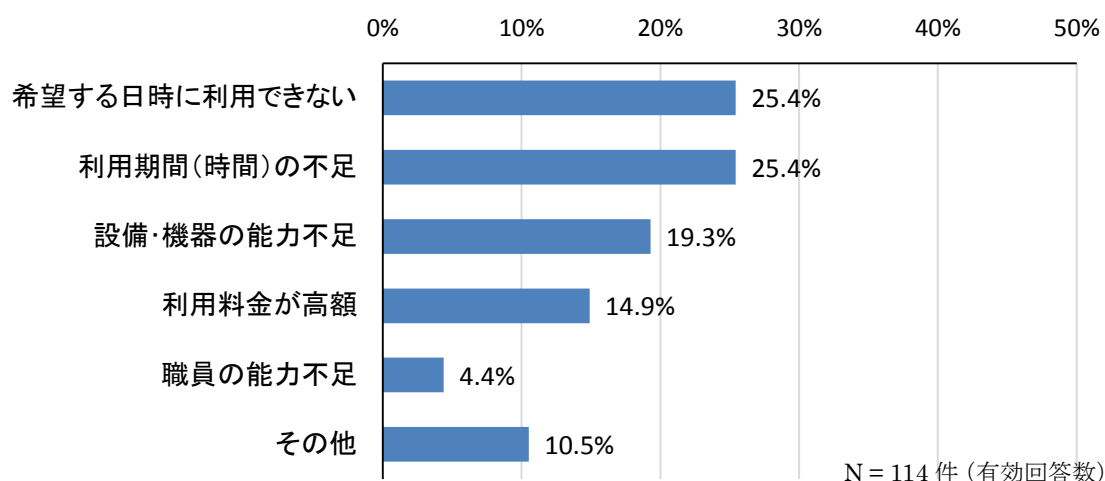
上述のような目的達成に関する具体的な成果について、310件のコメントをいただいた。成果の具体的な内容例は以下の通り。

機器利用による成果の内容(回答内容から一部抜粋)

- 自社保有の装置では対応できないサンプルを測定することができた。
- 十分な製品評価には至らなかったが、新たな設計に関する懸念材料を把握することができた。
- 顧客からの不具合指摘に対して、原因を確認し、弊社製品起因の問題でないことが証明できた。
- 今まで使用したことのない機器を利用させていただき、知識・技術の向上に役立っている。
- 取引先へ納品する前に不具合品を排除することができた。
- 振動試験を行い破損した部品の搭載方法を変更、製品の信頼性を向上することができた。
- 製品の評価を具体的な数値として表すことで、要求品質を満たしていることを証明できた。
- 測定したデータを製品の説明資料に活用することができた。

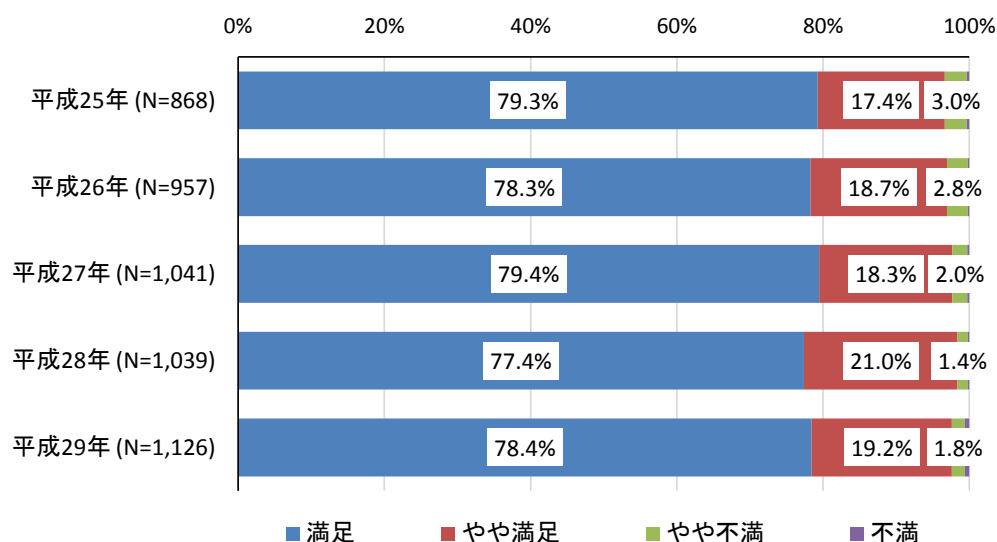
目的達成度について、「わずかしか達成できなかった」、「達成できなかった」とした回答者に達成度が低い理由をきいたところ、「希望する日時に利用できない」、「利用期間（時間）の不足」、「設備・機器の能力不足」との回答割合が高かった。

目的達成度が低い理由(複数回答)



機器利用の職員の対応満足度については、「満足」の回答割合が78.4%、同様に「やや満足」が19.2%と、満足している割合がとても高い。経年変化をみても、ほぼ同様の傾向である。

職員の対応満足度



機器利用のサービスに対する意見・要望について、129件のコメントをいただいた。

他のサービスと同様、「親切な対応に満足している」などの前向きなご意見を多数いただいている。一方、下記のように、HPでの機器利用の予約の拡充や機器の操作方法などの資料を充実する必要性が指摘された。

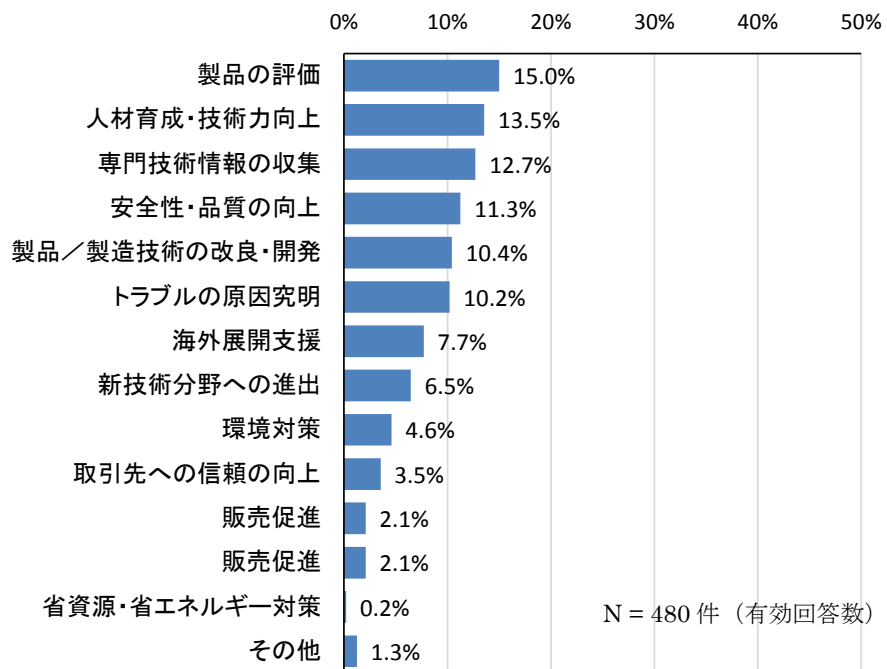
機器利用についての意見・要望の内容(回答内容から一部抜粋)

- HPで予約できる機器の種類が増えると良い。
- 実際の予約状況がHPの予約状況に反映されていない場合がある。上手く反映されていれば利用者、また担当者の手間も省けるのではないか。
- どの機器がどこにあるのか。また、使用可能な状態なのかなど、実際に機器利用を始める前の段階の確認に時間がかかる。
- 年に1回程度の頻度で利用しているが、機器の操作方法を覚えておらず、そのたびに説明を受けている。マニュアルの用意などしていただければ、誤作動や機器破損の懸念が少なくなるのではないか。
- 機器利用マニュアルに記載されていないことなどが多々あり、迷うことが少なからずあった。その都度職員に聞くのでは時間がなくなるので、マニュアルの内容をもう少し詰めるなどの対応をしていただきたい。

(4) 講習会・技術セミナー

本設問では、「講習会・技術セミナー」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応等について、回答をいただいた。

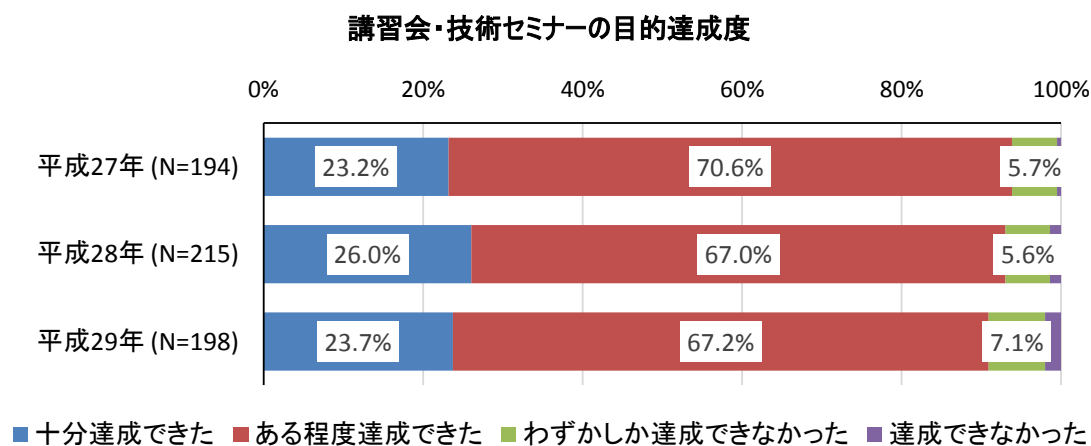
講習会・技術セミナーの利用目的としては、「製品の評価」、「人材育成・技術力向上」、「専門技術情報の収集」、「安全性・品質の向上」、「製品/製造技術の改良・開発」、「トラブルの原因究明」などの回答割合が高かった。

講習会・技術セミナーの目的(複数回答)**[その他の主な内容]**

- ・ CE マーケティング
- ・ 海外規格認証の理解
- ・ 関連ソフトの操作方法の学習

(4) 講習会・技術セミナー

講習会・技術セミナーの目的達成度は、「十分達成できた」が 23.7%、「ある程度達成できた」が 67.2%となっている。90%以上の利用者が十分或いはある程度、目的を達成している。経年変化をみると、「十分達成できた」との回答割合が減少している。



上述のような目的達成に関する具体的な成果について、39件のコメントをいただいた。成果の具体的な内容例は以下の通り。

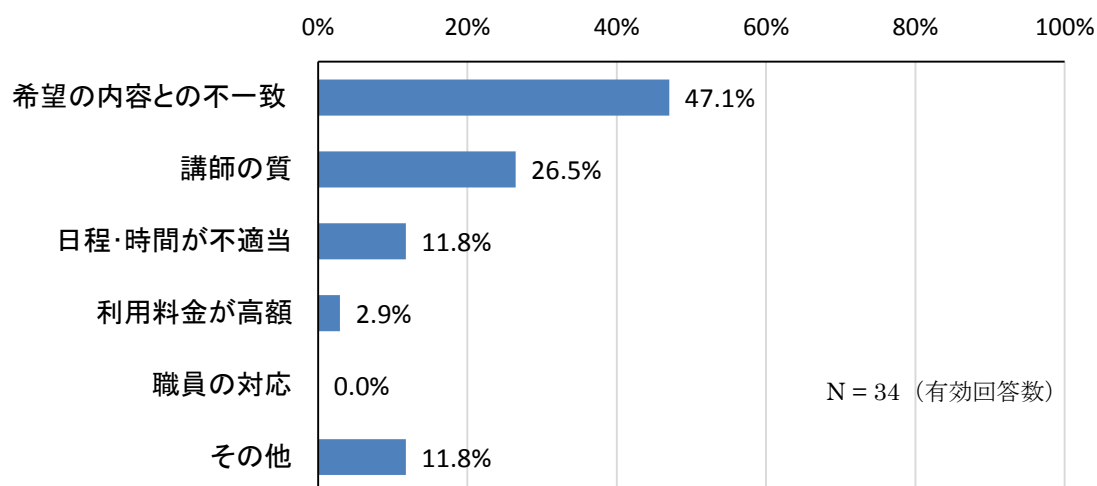
講習会・技術セミナーによる成果の内容(回答内容から一部抜粋)

- OCE マーキング、RoHS 指令の基礎学習ができた。
- 実例を踏まえた具体例などが多く、知識としてとても役に立った。
- 新人教育・人材育成に活用している。
- 汎用分析器の概要を把握でき、トラブル時の対応がイメージしやすくなった。

(4) 講習会・技術セミナー

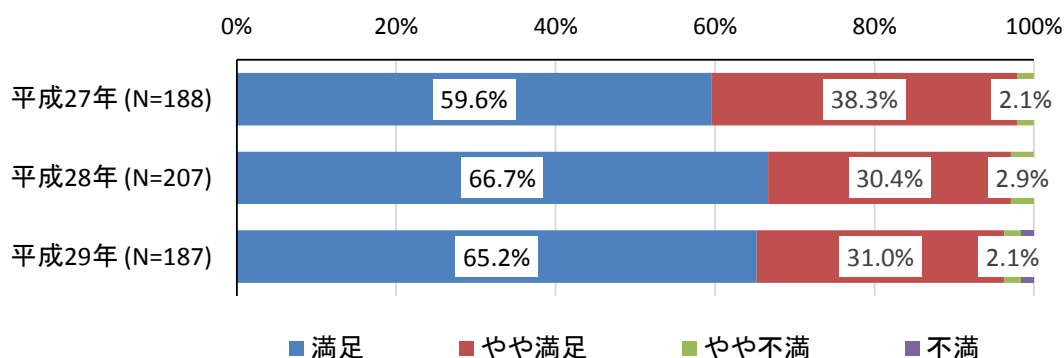
目的達成度について、「わずかしか達成できなかった」、「達成できなかった」とした回答者に達成度が低い理由をきいたところ、「希望の内容との不一致」との回答割合が高かった。次いで、「講師の質」の回答割合が高い。

目的達成度が低い理由(複数回答)



講習会・技術セミナーの職員の対応満足度については、「満足」の回答割合が65.2%、同様に「やや満足」が31.0%と、満足している割合がとても高い。経年の傾向をみていくと、「満足」の回答割合が若干減少している。

職員の対応満足度



(4) 講習会・技術セミナー

講習会・技術セミナーのサービスに対する意見・要望について、19件のコメントをいただいた。「大変勉強になった」などの前向きなご意見を多数いただいている。一方、下記のように、セミナーへの参加機会を増やしてほしい、また、法規制などの最新状況の情報源として活用しているのご意見をいただいた。

講習会・技術セミナーについての意見・要望の内容(回答内容から一部抜粋)

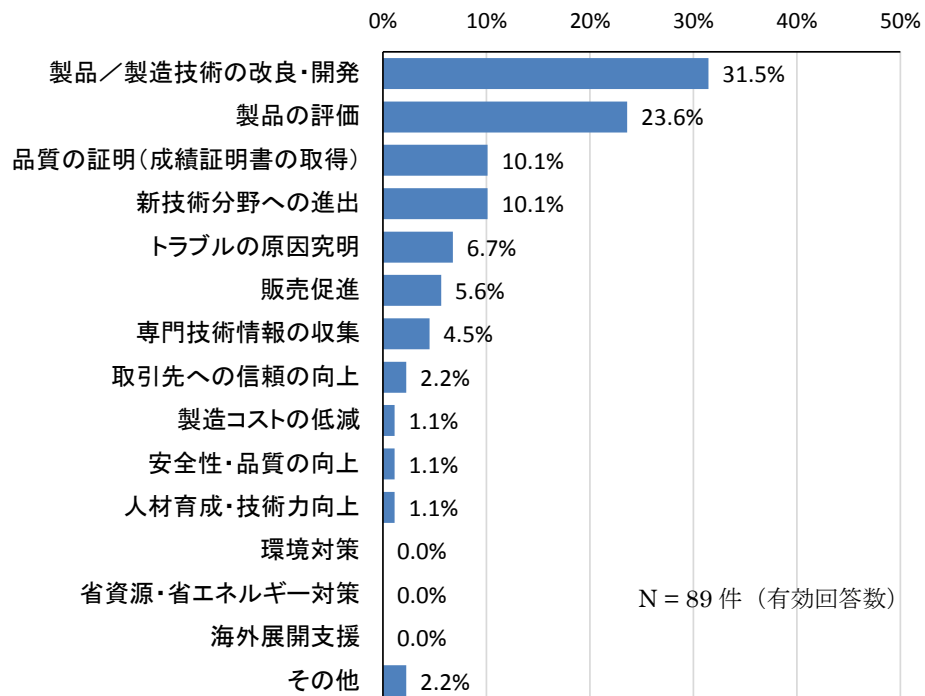
- 開催頻度が増えればより参加しやすくなる。
- 規格、法規制などの最新情報源として活用している。
- 事例紹介を増やしていただけるとイメージしやすくなる。

(5) オーダーメイド開発支援

本設問では、「オーダーメイド開発支援」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応等について、回答をいただいた。

オーダーメイド開発支援の利用目的としては、「製品/製造技術の改良・開発」、「製品の評価」の回答割合が高い。次いで、「品質の証明」、「新技術分野への進出」などの回答割合が高かった。

オーダーメイド開発支援の目的(複数回答)

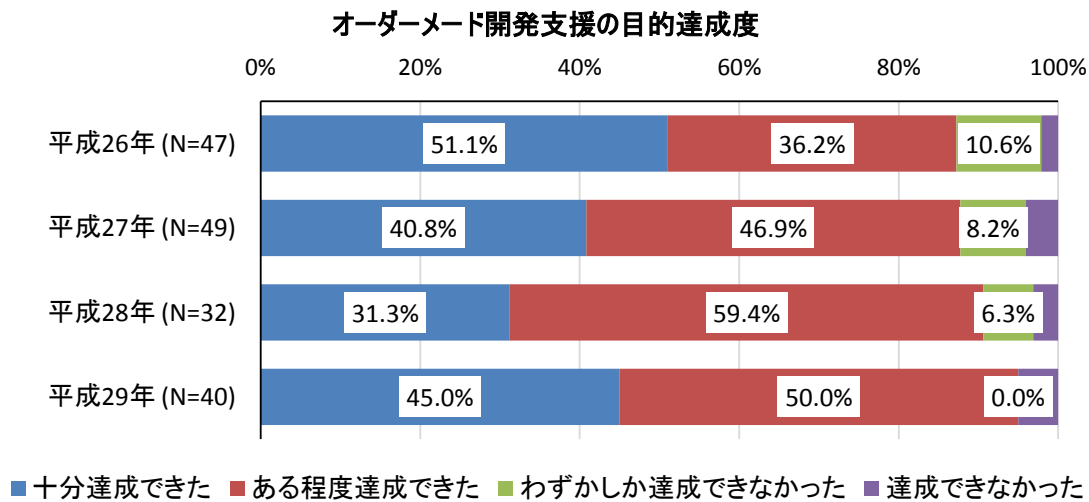


[その他の主な内容]

※その他に関する自由記述はなかった

(5) オーダーメイド開発支援

オーダーメイド開発支援の目的達成度は、「十分達成できた」が 45.0%、「ある程度達成できた」が 50.0%となっている。90%以上の利用者が十分或いはある程度、目的を達成している。経年変化をみても、各年とも目的を達成している割合がとても高い。



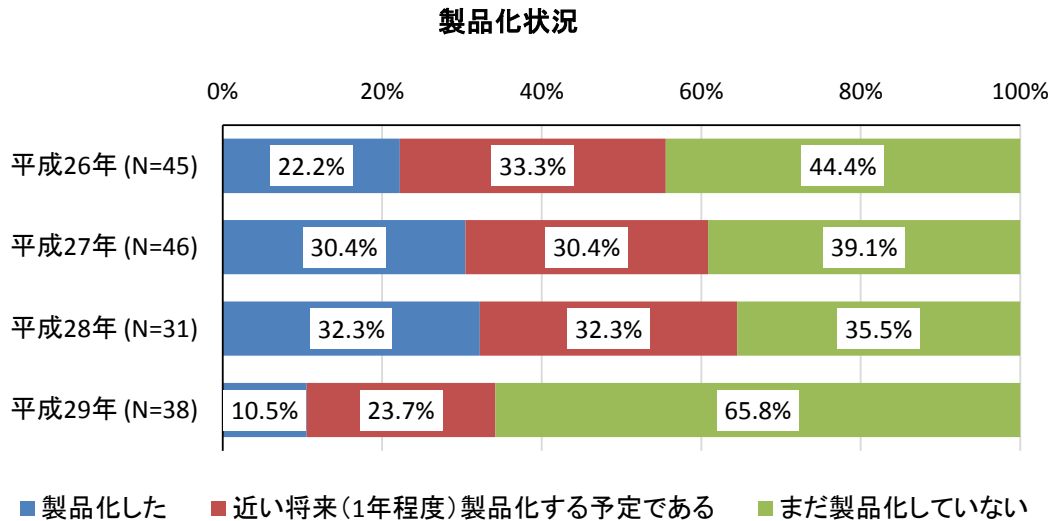
上述のような目的達成に関する具体的な成果の内容例は以下の通り。

オーダーメイド開発支援による成果の内容(回答内容から一部抜粋)

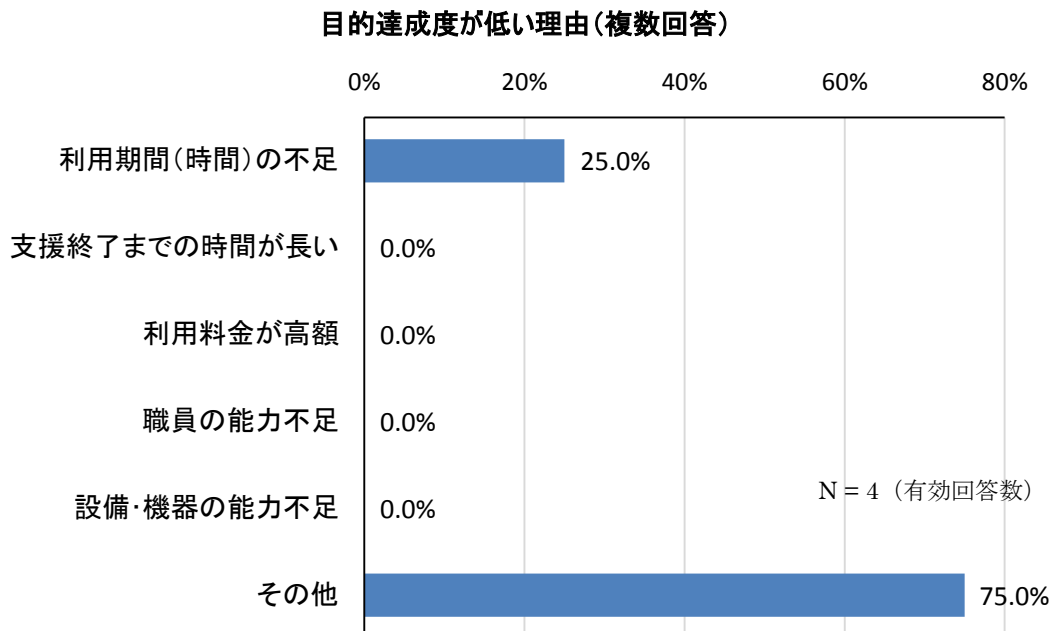
- まだ途中段階ではあるが、ガラスの試作方法等の技術指導・相談に対応いただき、知見を深めることができた。
- 開発コンセプトの優位性有無の確認ができた。
- 不具合に関してメーカーへのフィードバックが可能になった。

(5) オーダーメイド開発支援

オーダーメイド開発支援後の製品化状況をみると、「製品化した」の回答割合は10.5%、「近い将来製品化する予定である」の回答割合は23.7%であった。経年の傾向をみていくと、例年に比べて、製品化した（予定含む）割合が減少している。

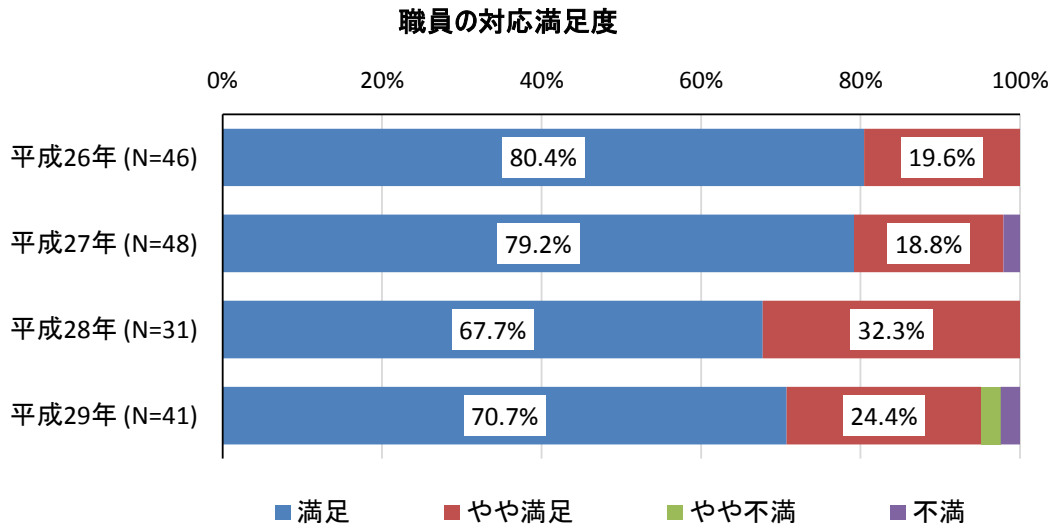


目的達成度について、「わずかしか達成できなかった」、「達成できなかった」とした回答者に達成度が低い理由をきいたところ、下記のような回答があった。



(5) オーダーメイド開発支援

オーダーメイド開発支援の職員の対応満足度については、「満足」の回答割合が70.7%、同様に「やや満足」が24.4%と、満足している割合がとても高い。経年の傾向をみていくと、「満足」との回答割合が増加、「やや満足」との回答割合が減少している。



オーダーメイド開発支援のサービスに対する意見・要望については下記のようなコメントをいただいている。

オーダーメイド開発支援についての意見・要望の内容(回答内容から一部抜粋)

- 迅速にまた安価にご対応していただき助かっている。今後も機会があれば利用させていただきたい。
- 利用料金を後払いにできればありがたいです。

【事業の比較まとめ】

- ・利用目的は、全ての事業で「製品の評価」が上位にある。
- ・目的達成度は、全ての事業で「十分達成+ある程度達成」が90%以上となっている。
- ・達成度が低い理由としては、「技術相談」、「依頼試験」、「機器利用」で「利用期間（時間）の不足」が挙げられている。
- ・職員の対応は、全ての事業で「満足+やや満足」が90%以上となっている。

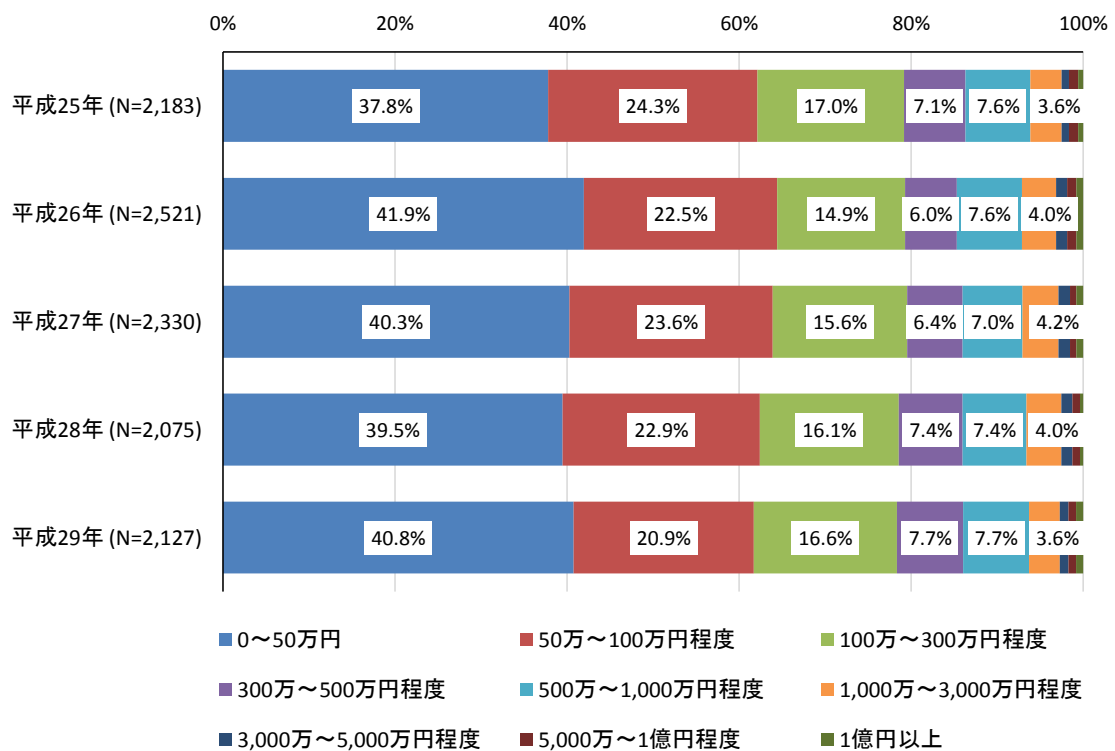
事業の比較まとめ

		技術相談	依頼試験	機器利用	講習会・技術セミナー	オーダーメイド開発支援
利用目的 上位3項目		<ul style="list-style-type: none"> ・製品の評価 ・トラブルの原因究明 ・品質の証明(成績証明書の取得の事前相談等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品の評価 ・品質の証明(成績証明書の取得) ・トラブルの原因究明 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品の評価 ・製品/製造技術の改良・開発 ・トラブルの原因究明 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品の評価 ・人材育成・技術力向上 ・専門技術情報の収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品/製造技術の改良・開発 ・製品の評価 ・品質の証明(成績証明書の取得) ・新技術分野への進出
目的達成度	十分達成+ある程度達成	94.1%	97.7%	96.9%	90.9%	95.0%
	わずかしか達成できない+達成できない	5.9%	2.3%	3.1%	9.1%	5.0%
達成度が低い場合の理由 上位3項目		<ul style="list-style-type: none"> ・回答が不十分 ・利用期間(時間)の不足 ・結果が得られるまでの時間が長い N = 163	<ul style="list-style-type: none"> ・試験終了までの時間が長い ・利用料金が高額 ・利用期間(時間)の不足 N = 90	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する日時に利用できない ・利用期間(時間)の不足 ・設備・機器の能力不足 N = 114	<ul style="list-style-type: none"> ・希望の内容との不一致 ・講師の質 ・日程・時間が不適當 N = 34	<ul style="list-style-type: none"> ・利用期間(時間)の不足 N = 4
職員の対応	満足+やや満足	97.6%	97.8%	97.6%	96.2%	95.1%
	やや不満+不満	2.4%	2.2%	2.4%	3.8%	4.9%

2.4.都産技研の利用による経済効果について

都産技研の利用により得られたと思われるメリットの金額換算についてきた。「0～50万円」の回答割合が40.8%、以下同様に、「50万～100万円程度」が20.9%、「100万～300万円程度」が16.6%、「300万～500万円程度」が7.7%、「500万～1,000万円程度」が7.7%、「1,000万～3,000万円程度」が3.6%となっている。経年変化をみても大きな変化はなく、安定した経済効果が創出されている。

都産技研の利用により得られたメリットの金額換算



次に、一企業あたりの経済効果を以下の試算によって算出した。

「0～50 万円」への回答は 25 万円
 「50～100 万円」への回答は 75 万円
 「100～300 万円」への回答は 200 万円
 ……
 「1 億円以上」への回答は 1 億円

として、全体の加重平均を算出する

経済効果の算出

回答	平均金額	回答件数
0～50 万円	25 万円	867
50 万～100 万円程度	75 万円	445
100 万～300 万円程度	200 万円	354
300 万～500 万円程度	400 万円	164
500 万～1,000 万円程度	750 万円	163
1,000 万～3,000 万円程度	2,000 万円	76
3,000 万～5,000 万円程度	4,000 万円	21
5,000 万～1 億円程度	7,500 万円	19
1 億円以上	1 億円	18

■経済効果 総額(2,127 件) 87 億 2,200 万円
 ■加重平均値 約 410 万円/企業
 ■利用企業全体での経済効果全体(9,332 社) 約 382 億 6,690 万円

経済効果総額 = (25 万円×867 件) + (75 万円×445 件) + (200 万円×354 件)
 + (400 万円×164 件) + (750 万円×163 件) + (2,000 万円×76 件)
 + (4,000 万円×21 件) + (7,500 万円×19 件) + (1 億円×18 件)
 =87 億 2,200 万円

平均額 =87 億 2,200 万円÷2,127 件
 =約 410 万円/企業

利用企業全体での経済効果金額 =410 万円×9,332 社 (*注)
 = 約 382 億円

(*注) 平成 29 年に都産技研の業務系データベースに登録されている企業数

一企業あたりの経済効果金額は約 410 万円となり、昨年結果 (381 万円/企業) よりも約 29 万円増加している。また、利用企業全体での経済効果金額は、約 382 億円となり、昨年結果 (約 369 億円) から増加している。

更に、その経済効果が何によって生まれたのかという理由を尋ねたところ、515 件の有効回答（有効コメント）をいただいた。このコメントを 3 種類に分類し、それぞれの有効回答数を整理すると以下の表になる。

分類 A 「現在コストの削減」

- ・どのような試験を行えばよいか、相談をしてから実験ができ、無駄な時間、労力、コストが削減できた。また、実験方法に関しても指示していただけたので、治具等の製作が無駄なくできた。

分類 B 「売上/利益の獲得」

- ・試験機器を利用することで、使い方を習得できたため、クライアントが保有する類似の試験機器を使用できるようになり、業務の受注量拡大につなげることができた。

分類 C 「将来メリットの獲得」

- ・依頼試験により、原因物質の分析とその影響が確認（類推）できた。専門家によるアドバイスと的確な試験の実施により、効率的かつ経済的に行なう事ができた。

経済効果額別/分類別件数

単位：件

経済効果額	分類 A コスト削減	分類 B 売上利益	分類 C 将来メリット	合計
0～50 万円	94	8	39	141
50 万～100 万円程度	85	12	14	111
100 万～300 万円程度	73	10	14	97
300 万～500 万円程度	33	2	12	47
500 万～1,000 万円程度	40	5	17	62
1,000 万～3,000 万円程度	22	5	6	33
3,000 万～5,000 万円程度	2	3	2	7
5,000 万～1 億円程度	2	3	2	7
1 億円以上	4	1	5	10
合計	355	49	111	515

分類 A～C それぞれにおける一企業あたりの金額換算額を、同様に加重平均によって算出した結果、以下のとおりとなった。

分類 A 「現在コストの削減」の経済効果額 =489 万円/企業

分類 B 「売上/利益の獲得」の経済効果額 =1,268 万円/企業

分類 C 「将来メリットの獲得」の経済効果額 =967 万円/企業

経済効果の理由についての内容(回答内容から一部抜粋)

分類 A 「現在コストの削減」

- 使用頻度の低い計測機器、測定機などを自社で所有することはできないし、民間に業務委託すると費用がかさむため、機器利用は中小企業にとって大変ありがたい。
- 試験機器を利用することができ、自前で設備投資した場合と比べて金額 20 万円のコスト削減ができた。
- 自前で準備が出来た為、コンサルタント料としての年額 100 万円以上の費用が節約できた。

分類 B 「売上/利益の獲得」

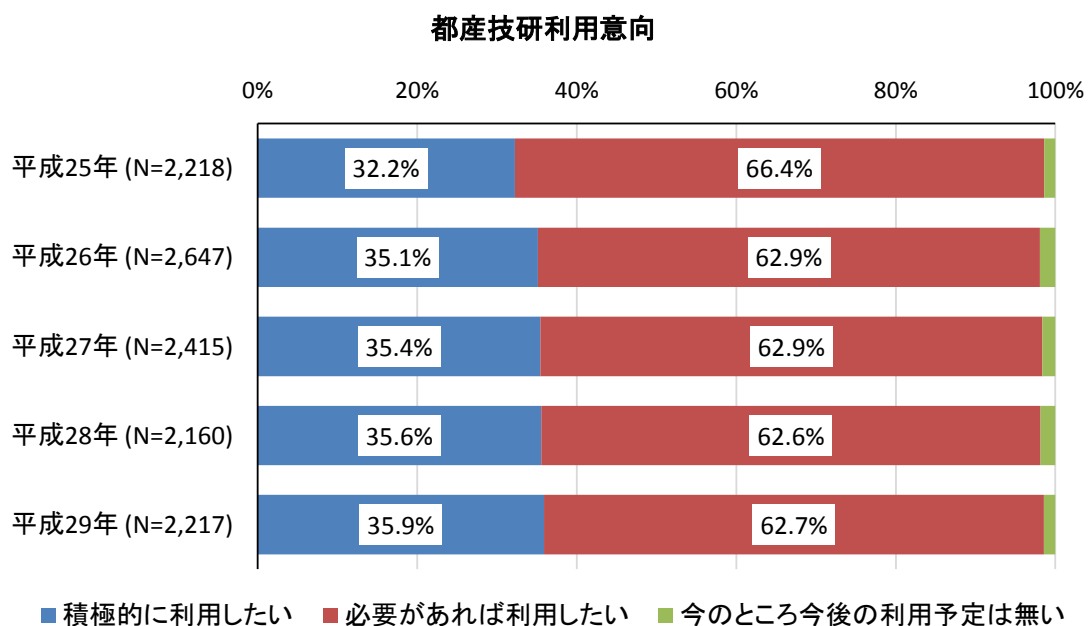
- 依頼試験等により VCCI の認証が取得でき、すぐにその製品の注文(数 100 万円の売上げ)に繋がった。
- 製品の魅力向上により、リニューアル前後で売上げが 3 倍に増加した。
- 製品開発や仕様を決定するための材料となり、エビデンスを元にしたプロモーションにより 5,000 万程度の売上げに繋がった。

分類 C 「将来メリットの獲得」

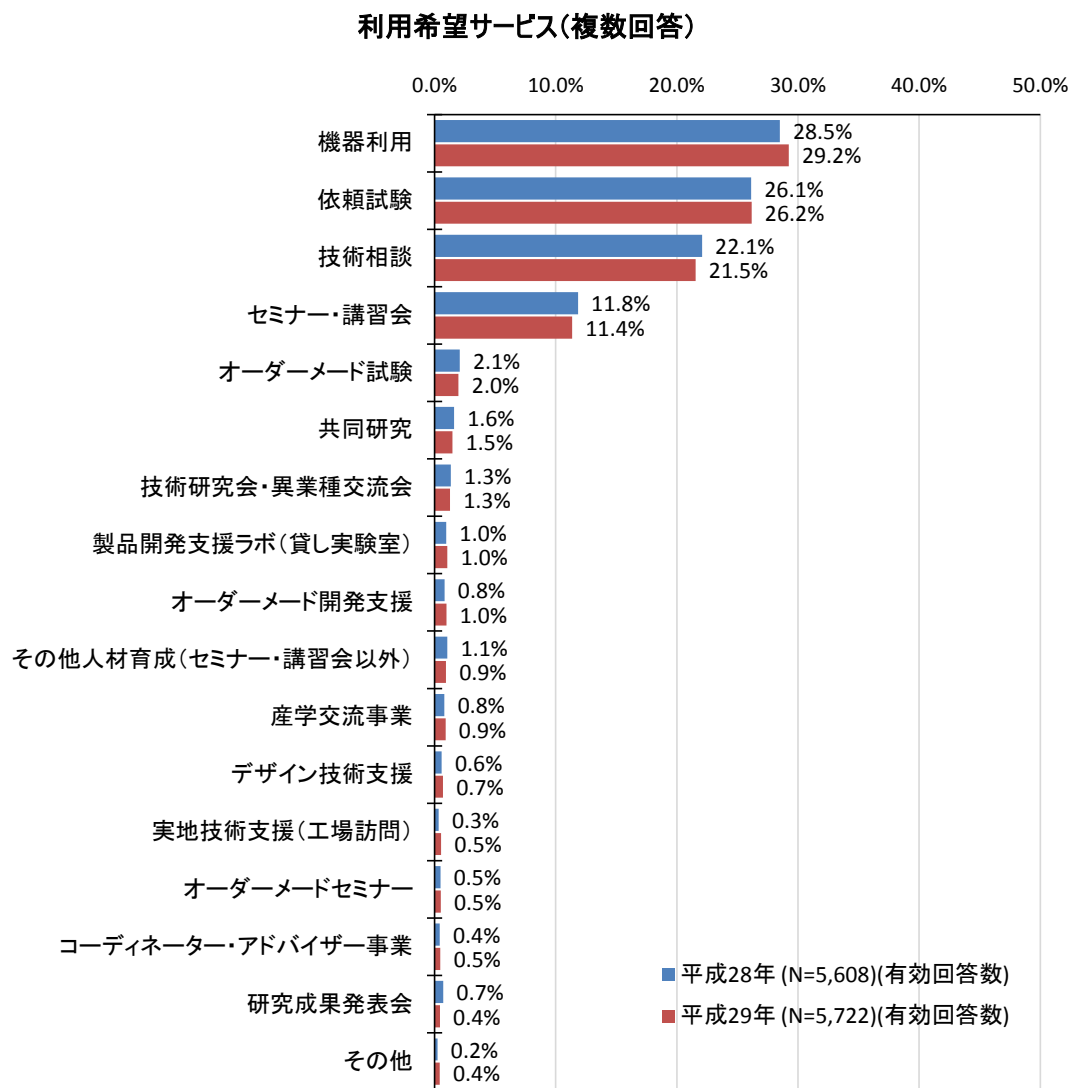
- プラスチックの破断が、弊社の成形条件が要因ではないことが説明でき、損害賠償を免れることができた。
- 製品による健康被害を防止できた。健康被害が発生した場合、各種対応・保障がかかってしまう。
- 測定データを基に知財的な防衛が可能となった。

2.5.今後の利用意向及び要望について

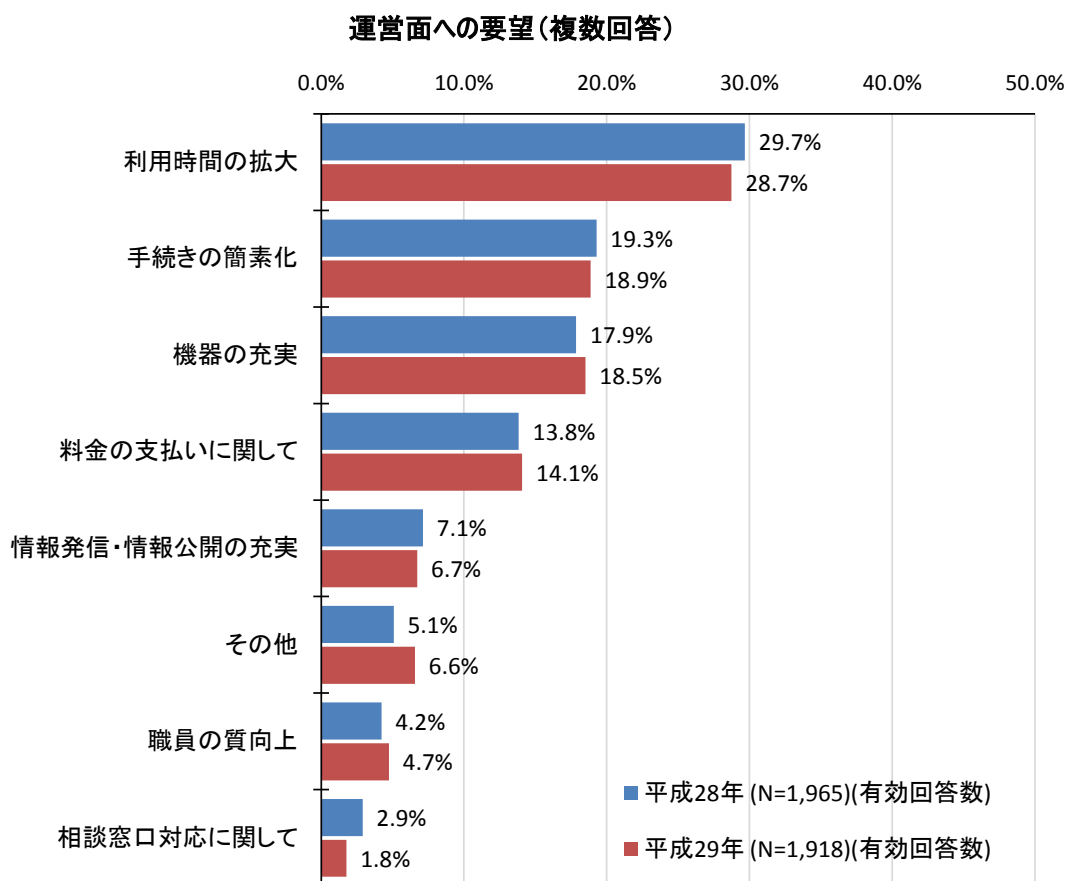
今後も都産技研を利用したいかどうかきいたところ、「積極的に利用したい」の回答割合は35.9%、「必要があれば利用したい」との回答割合は62.7%であった。経年変化をみると、同様の回答傾向が続いている。



利用を希望する具体的な事業・サービスについてきいたところ、「機器利用」、「依頼試験」、「技術相談」の回答割合が高かった。「セミナー・講習会」との回答割合も一定程度あった。



また、都産技研の運営面での要望では、「利用時間の拡大」との回答割合が最も高い。次いで、「手続きの簡素化」、「機器の充実」の回答割合が高かった。経年変化をみていくと、昨年の回答傾向とほぼ同様であった。



運営面の要望については、107件のコメントをいただいた。上述の運営面への要望の集計結果の傾向の通り、利用利便性の向上に関する事項が指摘された。

運営面への要望についての具体的なコメント(回答内容から一部抜粋)

- 機器利用の予約サービスをもっと拡充してほしい。
- 支払方法・タイミングを柔軟にできないか。

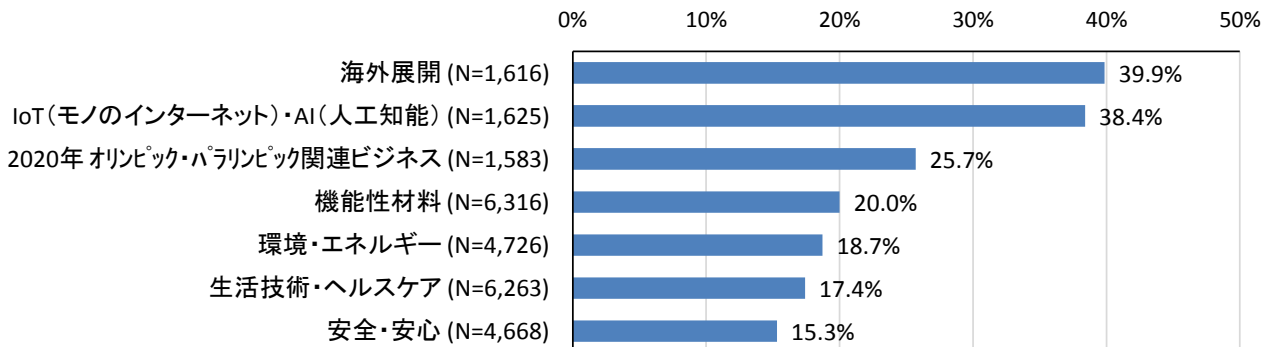
2.6.参入予定分野・利用予定事業（サービス）について

本設問では、興味や関心のあるサービス分野・事業における「参入予定のある分野」、「利用予定のある事業（サービス）」についてきいた。

【参入予定のある分野】

将来的に参入したい分野については、「海外展開」、「IoT・AI」の回答割合が高い。また、「海外展開やオリンピック・パラリンピック関連ビジネス」との回答割合も高かった。

参入意向(参入したい+必要があれば参入したいの割合)(複数回答)



※環境・エネルギーは、「環境浄化技術」+「電力省エネ技術」+「再生可能エネルギー」の合算値

※生活技術・ヘルスケアは、「感性工学」+「高齢者支援」+「細胞培養デバイス」+「医療機器」の合算値

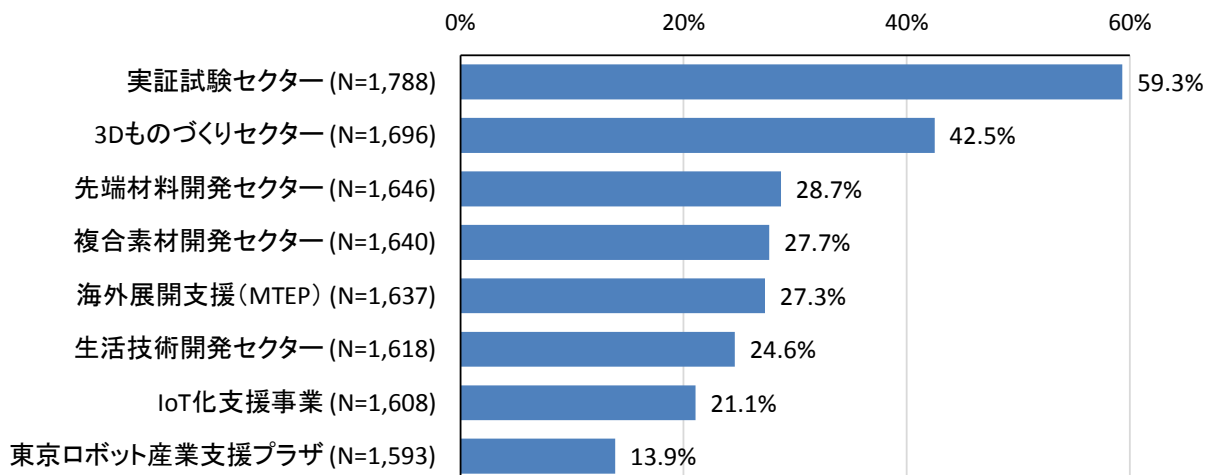
※機能性材料は、「微粒子材料・薄膜材料」+「航空宇宙素材」+「金属材料」+「炭素繊維強化プラスチック」の合算値

※安全・安心は、「インフラ劣化診断」+「システム安全」+「サービスロボット」の合算値

【利用予定のある事業（サービス）】

利用予定事業（サービス）については、「実証試験セクター」の回答割合が突出して高い。次いで、「3Dものづくりセクター」などの回答割合が高かった。

利用予定事業(サービス)(利用したい+必要があれば利用したいの割合)(複数回答)



3.総括

本調査では、ご利用者の皆様から数多くのご意見・ご要望をいただきました。都産技研ではこれらの結果を横断的な視点で考察し、課題を明確にしたうえで事業運営に反映させていきたいと考えています。

3.1.利用者からのご意見・ご要望

本調査における自由意見から、利用者の皆様のご意見・ご要望を分類し、以下の表にまとめました。

テーマ	項目	コメント(一部抜粋)
事業サービスの 拡充に関すること	分野の拡大 機器の充実	○これからも新しい分析・評価装置を積極的に導入して欲しい。 ○HPにて予約可能な機器を拡充していただきたい。 ○機器利用の際に当該機器の操作が分からないことが多いので、事前にマニュアルなどを確認できると良いのではないかと。 ○今後の潮流として環境計測を分かりやすく見える化するということがあると思う。この関連の計測機器が充実すると良い。
	利用時間 の拡大	○機器利用の利用時間について、1時間単位ではなく、30分単位にしてはどうか。 ○セミナーの時間帯について、昼間は業務のため、夜間の時間帯で実施できないか。
	窓口サービス の拡充	○HPでの機器利用の予約、予約状況の確認・把握など、もっと簡便にできるようにしてほしい。 ○試験・分析などに関する総合的な相談窓口があると良いのではないかと。
既存事業サービスの 効果的提供に 関すること	納期・ 予約時間	○ここ数年成績証明書発行までの時間がかかり過ぎていると思う。対策をとっていただきたい。 ○民間の分析機関と比べるとスピード感が劣る。
	支払い方法	○利用できるクレジットカードの種類を増やしてほしい。 ○支払い手続きについて、事前支払のみでなく、後払いにしてほしい。
	職員の 能力・対応	○担当者・職員の技術レベル・知識に差がある。 ○各担当者の得意分野が分かると効率的に相談できるのではないかと。
	情報授受	○試験用のデータなど、持参以外に、メールや郵送でも受け付けていただきたい。 ○試験結果のデータ等をCD-Rのみではなく、USBメモリで持ち帰れるようにならないか。
	その他	○HPなどで海外市場・規格などの情報発信を充実させていただきたい。 ○企業・個人の利用事例を紹介してほしい。 ○試験結果に対する見解がほしい。第三者の見解は大きな意味を持つので、メーカーとしては、その“見解”がほしいところである。 ○都産技研で所有する機器の見学会や説明会があると利用の幅が広がる。 ○試験機の動画を掲載すると分かり易いと思います。

3.2.ご意見をもとに改善した例について

以下では、皆様からいただいたご意見をもとに改善した例をご報告致します。

「事業サービスの拡充に関すること」のうち、分析・評価装置の導入について、平成29年10月に城東支所をリニューアルし、製品のデザインから試作、評価まで一貫したものづくり支援の体制を整備しました。100kN 万能試験機は大型製品の強度試験が、デジタルマイクロスコープでは高精細な顕微鏡観察が可能です。

そのほか、機器利用に関するマニュアルの整備も順次対応を進めてまいります。

「既存事業サービスの効果的提供に関すること」のうち、利用事例の紹介について、平成28年から毎年、「都産技研活用事例集 一製品開発・技術課題解決事例のご紹介」を発行しています。これは、都産技研の依頼試験や機器利用、共同研究等の事業メニューのご利用が製品化や課題解決につながった事例をまとめたものです。都産技研のウェブサイトにも掲載していますので、ご参考いただければ幸いです。

都産技研ウェブサイト：トップページ>情報発信>活用事例・製品化事例集

【URL】 <http://www.iri-tokyo.jp/site/joho/jireisyu.html>

また、機器の動画紹介を始めました。現在、金属粉末積層造形装置とナイロン粉末造形装置による実際の造形工程や、環境試験装置、製品強度試験・電気温度試験装置をウェブサイトで紹介しています。

[トップページ](#) > [3Dものづくりセクター](#) > [金属造形](#)

主な設備・機器

- ・ [金属粉末積層造形装置\(金属3Dプリンター\)\(機器利用\)](#)

機械部品、電子機器、医療機器、玩具などの金属部品を試作できます。造形後は、ビルドプレートからの切り離し、熱処理、サポートの除去などの後処理工程を依頼試験として承り、円滑な試作開発を支援します。
ご利用料金等の詳細はこちらの[金属粉末AMリーフレット](#) [\[PDFファイル/3.31MB\]](#)をご参照ください。また、実際の造形工程を下の動画でご紹介しています。



金属粉末造装置による造形工程の紹介

※ナイロン粉末積層造形装置：トップページ>3Dものづくりセクター>樹脂造形

※環境試験装置、製品強度試験・電気温度試験装置：トップページ>実証試験セクター

今回、皆さまから頂戴したご意見ご要望を真摯に受け止め、より一層のサービスの質の向上に努めてまいります。今後とも都産技研のご利用のほどよろしくお願いたします。

参考資料

「平成29年 ご利用に関するアンケート」

(※注)

アンケートの設問：3.(1)「ご利用の目的、達成度、職員対応等に関して」(P.38~42)
では、各種事業を利用された方のみを対象にアンケートを実施しています。

(例:平成29年に技術相談と依頼試験のみを利用された方には、P.40~42はお聞きしていません。)

《平成 29 年ご利用に関するアンケート》

アンケートに対する回答には、選択肢回答と自由記入回答があります。

選択肢がある設問では、該当する回答の □ 部にチェック（し点など）を記入してください。

1. 都産技研のご利用のきっかけについてお伺いします。

(1) ご利用のきっかけは、次のうちどれですか。

利用のきっかけ 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	ホームページ
	2	<input type="checkbox"/>	展示会（ ）
	3	<input type="checkbox"/>	TIRI NEWS
	4	<input type="checkbox"/>	メールニュース
	5	<input type="checkbox"/>	施設公開等の都産技研開催イベント
	6	<input type="checkbox"/>	他の行政機関による紹介
	7	<input type="checkbox"/>	他の企業による紹介
	8	<input type="checkbox"/>	自社（自校）の方からの紹介
	9	<input type="checkbox"/>	技術雑誌・学会（会誌等）
	10	<input type="checkbox"/>	テレビニュース、テレビ番組、新聞
	11	<input type="checkbox"/>	その他（ ）

2. 情報提供についてお伺いします。

(1) ホームページ、メールニュースおよび TIRI NEWS に関してお答えください。

都産技研のホームページ ⇒⇒ <http://www.iri-tokyo.jp>

また、都産技研ではメールニュース（※）を随時配信しています。

※：内容は講習会・技術セミナー等の募集、研究成果発表会・施設公開等のイベント、刊行物の紹介情報 など

(A) ホームページ及びメールニュースについてご意見などがありましたら、お聞かせください。

--

(B) メールニュースの配信を希望される方は配信先メールアドレスをご記入ください。

配信先メールアドレス	
------------	--

次のページにお進みください

3. 産技研の利用実態についてお伺いします。

(1) ご利用の目的、達成度、職員対応等に関してお答えください。

ご利用事業（サービス）：**技術相談**

技術相談 の目的 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	品質の証明（成績証明書の取得の事前相談等）
	2	<input type="checkbox"/>	製品の評価
	3	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	4	<input type="checkbox"/>	製品／製造技術の改良・開発
	5	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	6	<input type="checkbox"/>	取引先への信頼の向上
	7	<input type="checkbox"/>	安全性・品質の向上
	8	<input type="checkbox"/>	人材育成・技術力向上
	9	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	10	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	11	<input type="checkbox"/>	販売促進
	12	<input type="checkbox"/>	環境対策
	13	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	14	<input type="checkbox"/>	海外展開支援
	15	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
技術相談 の目的達成度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしか達成できなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
達成度が低いと感じ た場合（3又は4を選 択した場合）、 その理由をお聞かせ ください。 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	回答が不十分
	2	<input type="checkbox"/>	利用期間（時間）の不足
	3	<input type="checkbox"/>	結果が得られるまでの時間が長い
	4	<input type="checkbox"/>	職員の対応
	5	<input type="checkbox"/>	職員の能力不足
	6	<input type="checkbox"/>	その他 （ ）
また、具体的な成果（派生を含め て、製品改良や事業化事例など） があれば、お聞かせください。			
具体的な成果等につい て、直接話を聞かせて いただけますか 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	はい*
	2	<input type="checkbox"/>	いいえ
技術相談時の 職員の対応 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
本サービスについて、ご意見・ご要 望などございましたら、お聞かせく ださい。			

※「はい」とお答えいただいた方には、後日職員からご連絡させていただく場合がございます。

次のページにお進みください

ご利用事業（サービス）： **依頼試験**

依頼試験 の利用目的 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	品質の証明（成績証明書の取得）
	2	<input type="checkbox"/>	製品の評価
	3	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	4	<input type="checkbox"/>	製品／製造技術の改良・開発
	5	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	6	<input type="checkbox"/>	取引先への信頼の向上
	7	<input type="checkbox"/>	安全性・品質の向上
	8	<input type="checkbox"/>	人材育成・技術力向上
	9	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	10	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	11	<input type="checkbox"/>	販売促進
	12	<input type="checkbox"/>	環境対策
	13	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	14	<input type="checkbox"/>	海外展開支援
	15	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
依頼試験 の目的達成度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしかなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
達成度が低いと感じた場合（3又は4を選択した場合）、その理由をお聞かせください。 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	試験終了までの時間が長い
	2	<input type="checkbox"/>	利用期間（時間）の不足
	3	<input type="checkbox"/>	利用料金が高額
	4	<input type="checkbox"/>	職員の能力不足
	5	<input type="checkbox"/>	設備・機器の能力不足
	6	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
また、具体的な成果（派生を含めて、製品改良や事業化事例など）があれば、お聞かせください。			
具体的な成果等について、直接話を聞かせていただけますか。 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	はい※
	2	<input type="checkbox"/>	いいえ
依頼試験時の 職員の対応 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
本サービスについて、ご意見・ご要望などございましたら、お聞かせください。			

※「はい」とお答えいただいた方には、後日職員からご連絡させていただく場合がございます。

次のページにお進みください

ご利用事業（サービス）：機器利用

機器利用の目的 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	製品の評価
	2	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	3	<input type="checkbox"/>	製品／製造技術の改良・開発
	4	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	5	<input type="checkbox"/>	取引先への信頼の向上
	6	<input type="checkbox"/>	安全性・品質の向上
	7	<input type="checkbox"/>	人材育成・技術力向上
	8	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	9	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	10	<input type="checkbox"/>	販売促進
	11	<input type="checkbox"/>	環境対策
	12	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	13	<input type="checkbox"/>	海外展開支援
	14	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
機器利用の目的達成度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしかなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
達成度が低いと感じた場合（3又は4を選択した場合）、その理由をお聞かせください。 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	希望する日時に利用できない
	2	<input type="checkbox"/>	利用期間（時間）の不足
	3	<input type="checkbox"/>	利用料金が高額
	4	<input type="checkbox"/>	職員の能力不足
	5	<input type="checkbox"/>	設備・機器の能力不足
	6	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
また、具体的な成果（派生を含めて、製品改良や事業化事例など）があれば、お聞かせください。			
具体的な成果等について、直接話を聞かせていただけますか。 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	はい*
	2	<input type="checkbox"/>	いいえ
機器利用時の職員の対応 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
本サービスについて、ご意見・ご要望などございましたら、お聞かせください。			

*「はい」とお答えいただいた方には、後日職員からご連絡させていただく場合がございます。

次のページにお進みください

ご利用事業（サービス）：講習会・技術セミナー

講習会・技術セミナー の参加目的 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	製品の評価
	2	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	3	<input type="checkbox"/>	製品／製造技術の改良・開発
	4	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	5	<input type="checkbox"/>	取引先への信頼の向上
	6	<input type="checkbox"/>	安全性・品質の向上
	7	<input type="checkbox"/>	人材育成・技術力向上
	8	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	9	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	10	<input type="checkbox"/>	販売促進
	11	<input type="checkbox"/>	環境対策
	12	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	13	<input type="checkbox"/>	海外展開支援
	14	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
講習会・技術セミナー の目的達成度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしかなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
達成度が低いと感じ た場合（3又は4を選 択した場合）、 その理由をお聞かせ ください。 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	希望の内容との不一致
	2	<input type="checkbox"/>	講師の質
	3	<input type="checkbox"/>	日程・時間が不適當
	4	<input type="checkbox"/>	利用料金が高額
	5	<input type="checkbox"/>	職員の対応
	6	<input type="checkbox"/>	その他 （ ）
また、具体的な成果（派生を含め て、製品改良や事業化事例など） があれば、お聞かせください。			
具体的な成果等につい て、直接話を聞かせて いただけますか。 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	はい*
	2	<input type="checkbox"/>	いいえ
講習会・技術セミナー 時の職員の対応 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
本サービスについて、ご意見・ご要 望などございましたら、お聞かせく ださい。			

※「はい」とお答えいただいた方には、後日職員からご連絡させていただく場合がございます。

次のページにお進みください

ご利用事業（サービス）：オーダーメイド開発支援※1

オーダーメイド開発支援の目的 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	品質の証明（成績証明書の取得）
	2	<input type="checkbox"/>	製品の評価
	3	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	4	<input type="checkbox"/>	製品／製造技術の改良・開発
	5	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	6	<input type="checkbox"/>	取引先への信頼の向上
	7	<input type="checkbox"/>	安全性・品質の向上
	8	<input type="checkbox"/>	人材育成・技術力向上
	9	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	10	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	11	<input type="checkbox"/>	販売促進
	12	<input type="checkbox"/>	環境対策
	13	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	14	<input type="checkbox"/>	海外展開支援
	15	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
オーダーメイド開発支援の目的達成度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしこ達成できなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
達成度が低いと感じた場合（3又は4を選択した場合）、その理由をお聞かせください。 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	支援終了までの時間が長い
	2	<input type="checkbox"/>	利用期間（時間）の不足
	3	<input type="checkbox"/>	利用料金が高額
	4	<input type="checkbox"/>	職員の能力不足
	5	<input type="checkbox"/>	設備・機器の能力不足
	6	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
本事業終了後、製品化に至りましたか 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	製品化した
	2	<input type="checkbox"/>	近い将来（1年程度）製品化する予定である
	3	<input type="checkbox"/>	まだ製品化していない
また、具体的な成果（派生を含めて、製品改良や事業化事例など）があれば、お聞かせください。			
具体的な成果等について、直接話を聞かせていただけますか。 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	はい※2
	2	<input type="checkbox"/>	いいえ
オーダーメイド開発支援時の職員の対応 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
本サービスについて、ご意見・ご要望などございましたら、お聞かせください。			

※1 オーダーメイド開発支援とは、コンセプト立案・デザイン・設計・各種加工・試作・開発過程での性能評価等、通常の依頼試験や機器利用では対応がむずかしいニーズに対応した技術支援です。

※2 「はい」とお答えいただいた方には、後日職員からご連絡させていただく場合がございます。

次のページにお進みください

(2) 都産技研ご利用による経済効果に関してお答えください。

(A) 都産技研のご利用により、あなたの会社（組織）が得られたと思われるメリットを、金額換算すると、次のいずれに相当しますか。


	0～50万円	-----	1	<input type="checkbox"/>
	50万～100万円程度	-----	2	<input type="checkbox"/>
	100万～300万円程度	-----	3	<input type="checkbox"/>
	300万～500万円程度	-----	4	<input type="checkbox"/>
	500万～1,000万円程度	-----	5	<input type="checkbox"/>
	1,000万～3,000万円程度	-----	6	<input type="checkbox"/>
	3,000万～5,000万円程度	-----	7	<input type="checkbox"/>
	5,000万～1億円程度	-----	8	<input type="checkbox"/>
	1億円以上	-----	9	<input type="checkbox"/>

1億円以上の場合、おおよその金額をご記入ください： _____(億円くらい)

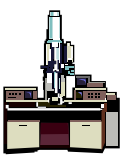
◆ 上記回答の考え方のヒント ◆

金額に換算するのは容易ではないと思われますが、都産技研を利用されなかった場合と比較して、大まかに推定してください。例えば、次のようなストーリーを推定し、金額を選択してください。


依頼試験等により、海外認証が取得でき、その製品の売上げが製品ライフで〇〇〇万円見込める。




試験機器を利用することができ、自前で設備投資した場合と比べて金額〇〇〇万円のコスト削減ができた。



技術相談や講習会・技術セミナーにより、製品開発や規格対応における職員の知識・スキルが増加し、生産性が向上した結果、〇〇〇万円の売上げ増加につながった。



故障解析により、製品欠陥の真の原因が究明でき、欠陥に起因する損失〇〇〇万円の支出を回避することができた。



(B) 可能であれば、上記ストーリーをご参考に、具体的経済効果理由をご記入ください。

次のページにお進みください

4. 興味関心やご要望についてお伺いします。

(1) 今後の利用意向や要望等に関してお答えください。

今後の利用意向 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	積極的に利用したい
	2	<input type="checkbox"/>	必要があれば利用したい
	3	<input type="checkbox"/>	今のところ今後の利用予定は無い

利用希望サービス【複数選択可】	
番号	
A1	<input type="checkbox"/> 技術相談
A2	<input type="checkbox"/> 依頼試験
A3	<input type="checkbox"/> 機器利用
A4	<input type="checkbox"/> セミナー・講習会
A5	<input type="checkbox"/> その他人材育成 (セミナー・講習会以外)
A6	<input type="checkbox"/> オーダーメイド試験
A7	<input type="checkbox"/> オーダーメイドセミナー
A8	<input type="checkbox"/> オーダーメイド開発支援
A9	<input type="checkbox"/> デザイン技術支援
A10	<input type="checkbox"/> コーディネーター・アドバイザー事業
A11	<input type="checkbox"/> 実地技術支援(工場訪問)
A12	<input type="checkbox"/> 共同研究
A13	<input type="checkbox"/> 研究成果発表会
A14	<input type="checkbox"/> 技術研究会・異業種交流会
A15	<input type="checkbox"/> 産学交流事業
A16	<input type="checkbox"/> 製品開発支援ラボ(貸し実験室)
A17	<input type="checkbox"/> その他(下欄にご記入ください)

運営面への要望等【複数選択可】	
番号	
B1	<input type="checkbox"/> 手続きの簡素化 ※
B2	<input type="checkbox"/> 利用時間の拡大
B3	<input type="checkbox"/> 機器の充実 (下欄にご記入ください)
B4	<input type="checkbox"/> 職員の質向上
B5	<input type="checkbox"/> 情報発信・情報公開の充実
B6	<input type="checkbox"/> 料金の支払いに関して
B7	<input type="checkbox"/> 相談窓口対応に関して
B8	<input type="checkbox"/> その他 (下欄にご記入ください)

※ 都産技研本部では、総合支援窓口を設置し、窓口一本化や複数相談への一括対応など、サービス機能の複合化を図っております。



「利用希望サービス」「運営面への要望等」に関して具体的なご意見等ございましたらご記入ください。		
B3 関係	新規導入・既存で更新してほしい機器名【1つ】	
	上記機器の使用用途	記入例：有機ELの特性評価
	上記機器の希望性能	記入例：Om ^π 以上の製品が試験可能
A17 関係		
B8 関係	例) ○○○の依頼試験の際の支払い手続きを、もっと簡単にしてほしい。	

次のページにお進みください

(2) 参入予定のある分野について

参入予定のある分野*についてお答えください。

※新規の参入分野、現状よりも大幅に拡充を予定している分野を想定しています

		参入予定 【それぞれ1つだけ 選択】			
		A	B	C	
分野名		参入したい	参入したい 必要があれば	現在は予定 していない	
環境・エネルギー	1	環境浄化技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2	電力省エネ技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3	再生可能エネルギー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
生活技術・ヘルスケア	4	感性工学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	5	高齢者支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	6	細胞培養デバイス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	7	医療機器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
機能性材料	8	微粒子材料・薄膜材料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	9	航空宇宙素材	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	10	金属材料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	11	炭素繊維強化プラスチック	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
安全・安心	12	インフラ劣化診断	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	13	システム安全	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	14	サービスロボット	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	海外展開（輸出・海外拠点の設置）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16	2020年 オリンピック・パラリンピック関連ビジネス		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17	IoT（モノのインターネット）・AI（人工知能）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

上記分野への参入にあたり課題やご要望がございましたらお聞かせください。

参入予定分野	1	<input type="checkbox"/>	環境浄化技術	10	<input type="checkbox"/>	金属材料
	2	<input type="checkbox"/>	電力省エネ技術	11	<input type="checkbox"/>	炭素繊維強化プラスチック
	3	<input type="checkbox"/>	再生可能エネルギー	12	<input type="checkbox"/>	インフラ劣化診断
	4	<input type="checkbox"/>	感性工学	13	<input type="checkbox"/>	システム安全
	5	<input type="checkbox"/>	高齢者支援	14	<input type="checkbox"/>	サービスロボット
	6	<input type="checkbox"/>	細胞培養デバイス	15	<input type="checkbox"/>	海外展開
	7	<input type="checkbox"/>	医療機器	16	<input type="checkbox"/>	オリンピック・パラリンピック関連
	8	<input type="checkbox"/>	微粒子材料・薄膜材料	17	<input type="checkbox"/>	IoT・AI
	9	<input type="checkbox"/>	航空宇宙素材			
課題・ご要望						

次のページにお進みください

(3) ご利用予定のある事業（サービス）について

		利用予定 【それぞれ1つだけ 選択】		
		A	B	C
	事業（サービス）	利用 したい	い ば 必 要 が あ れ ない	現 在 は 予 定
1	東京ロボット産業支援プラザ 公募型による共同研究の実施や安全性および性能の評価などにより、ロボットの実用化を目指す企業の支援を行っています。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	IoT化支援事業 中小企業の生産性向上などを目的としたIoT化などを進めるため、公募型の共同研究を実施し、性能評価などを行っています。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	海外展開支援（MTEP） 輸出時における海外の製品安全規格についての相談や情報提供、海外に展開する日系中小企業の技術支援を行っています。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	3Dものづくりセクター ※ 3Dプリンターや三次元座標測定機、三次元CAD/CAEシステムを整備し、開発型中小企業の3Dデジタルものづくりを支援します。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	複合素材開発セクター ※ 繊維技術、成型加工技術を活用し、高機能繊維材料や繊維強化複合材料による製品開発を支援します。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	先端材料開発セクター ※ 先端化学分析機器、微粒子分散・混合機、スクリーン印刷機を活用して中小企業による高度な研究開発や技術課題の解決を支援しています。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	生活技術開発セクター 生活製品に求められる「快適・健康」「安全・安心」に関する評価機器を充実させ、人間工学、生理計測、安全性評価に基づく高付加価値なものづくりを支援しています。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実証試験セクター 温度・湿度、劣化・腐食、振動・衝撃、電源・電気の評価、電気や温度の国際規格に準拠した品質評価、各種製品・材料の強度試験を行っています。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※平成28年度開始の第三期中期計画期間において開設した事業です。

上記事業（サービス）のご利用にあたりご要望がございましたらお聞かせください。

利用予定事業	1 <input type="checkbox"/>	東京ロボット産業支援プラザ	5 <input type="checkbox"/>	複合素材開発セクター
	2 <input type="checkbox"/>	IoT化支援事業	6 <input type="checkbox"/>	先端材料開発セクター
	3 <input type="checkbox"/>	海外展開支援（MTEP）	7 <input type="checkbox"/>	生活技術開発セクター
	4 <input type="checkbox"/>	3Dものづくりセクター	8 <input type="checkbox"/>	実証試験セクター
ご要望				

次のページにお進みください

5. 貴社の業種についてお伺いします。

次の中から該当する業種にチェックを入れてください。

製造業	1	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（29）
	2	<input type="checkbox"/>	業務用機会器具製造業（27）
	3	<input type="checkbox"/>	金属製品製造業（24）
	4	<input type="checkbox"/>	電子部品・デバイス・電子回路製造業（28）
	5	<input type="checkbox"/>	プラスチック製品製造業（18）
	6	<input type="checkbox"/>	情報通信機器製造業（30）
	7	<input type="checkbox"/>	輸送用機器製造業（31）
	8	<input type="checkbox"/>	繊維工業製造業（11）
	9	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
非製造業	10	<input type="checkbox"/>	情報通信業（37～41）
	11	<input type="checkbox"/>	卸売業・小売業（50～61）
	12	<input type="checkbox"/>	サービス業（71～80、86～96）
	13	<input type="checkbox"/>	その他（ ）

※（ ）内は日本標準産業分類番号

(2) 具体的な製品名やサービスの内容をご記入ください。

--

ありがとうございました。返信用封筒へ入れて投函してください。

登録番号 都産技 29-17号

平成29年 都産技研の利用に関する調査 アウトカム評価報告書

平成30年4月発行

発行 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
〒135-0064 東京都江東区青海2-4-10
TEL : 03-5530-2111 (代表)
FAX : 03-5530-2765
URL : <http://www.iri-tokyo.jp/>



古紙ハルブ配合率80%再生紙を使用

